

デジタルエンジニアリングに関する標準化活動 アンケートへのご協力をお願い

日頃は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

デジタルエンジニアリング分科会は、自動車メーカー14社のエキスパートが各社の知識を持ち寄り、協調領域におけるモビリティ開発のデジタル化検討・ガイドライン発行や最先端技術研究に取り組み、指針を定めることで国際競争力の底上げを図っています。

JAMA のデジタルエンジニアリング活動の普及・展開を図るため、各資料の活用状況を集計・把握しておりますので、お手数ではございますが、アンケートにご協力いただけます様、よろしくお願い申し上げます。

ご協力いただける方は、下記 URL または QR コードよりアンケートフォームへお進みください。

※アンケートの回答は無記名ですので、個人情報特定されることはありません。

<https://forms.office.com/r/3eKDzwJBcH>



【問い合わせ】

一般社団法人 日本自動車工業会

総合政策委員会 ICT 部会 デジタルエンジニアリング分科会

E-MAIL : ict-digitaleng@mta.jama.or.jp

データ交換運用関連 サプライヤ提供情報

フォーマット V2.0 改定: 2021/9/13

会社名 **いすゞ自動車株式会社**

記載日 **2026年5月28日**

[1] 運用システム データ交換様式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

記載にあたっては、各項目のコメントも参考して下さい。

システム	二輪/四輪 区分	バージョン			システム構成		データ交換様式		補足	
		現行Ver	次期Ver.	切替予定時期	標準パッケージ	OS	Native	汎用		
CAD	NX	四輪	NX2312	未定	未定	NX Mach 3 Industrial Design	Windows 11 64 bit	NX	STEP IGES	Native NXデータによる交換を基本とし、対応困難な場合にSTEP、IGESも可としている
VIEWER	TcVis	四輪	14.3	未定	未定		Windows 11 64 bit			

[2] オンライン授受方式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

システム名称	利用回線	接続方式	補足
iDX	JNX、Internet(ssl-vpn)	専用Web方式	

[3] オフライン授受方式 (オフラインでの運用が可能な場合は記載して下さい。)

--

[4] 環境設定(カスタマイズ設定)問い合わせ先 (各システムのサポート先や問合せ先を記載下さい。)

システム	部署	補足
CAD	システム企画部技術情報領域グループ	
VIEWER	システム企画部技術情報領域グループ	
オンライン授受	問合せ: 開発技術企画部設計情報グループ サポート: システム企画部技術情報領域グループ	
Officeソフト	システム企画部技術情報領域グループ	

[5] OfficeソフトのVer (取引先とやり取りする可能性のあるsoftをお記載下さい。)

ソフト名	バージョン	補足
MS Office	365	

[6] PDQチェックの適応 (PDQチェックの運用有無を選択下さい。使用するPDQツールが決まっていれば、併せて記載下さい。)

適応状況	<input type="radio"/> 適応無し <input checked="" type="radio"/> 独自仕様で運用(変更なし) <input type="radio"/> 独自仕様で運用(変更あり)	補足
必要PDQツール	NX標準機能のCheck-Mate	Check-Mateは自社でカスタマイズしたチェック項目を使用

調査へのご協力、有難うございました。

適用しているPDQ項目としきい値

カテゴリ	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目	しきい値
3.2.1.	3.2.1.1.	セグメント間の隙間	G-CU-LG			
	3.2.1.2.	セグメント間の折れ	G-CU-NT			
	3.2.1.3.	セグメント間の曲率不連続	G-CU-NS			
	3.2.1.4.	微小曲線/セグメント	G-CU-TI			0.01mm
	3.2.1.5.	近接した曲線/ノット	G-CU-IK			
	3.2.1.6.	曲線の自己干渉	G-CU-IS			
	3.2.1.7.	重複曲線	G-CU-EM			
	3.2.1.8.	曲線の最大次数	G-CU-HD			
	3.2.1.9.	直線状曲線の最大次数	G-CU-ID			
	3.2.1.10.	最大セグメント数	G-CU-FG			
	3.2.1.11.	平面曲線の波打ち	G-CU-WV			
	3.2.1.12.	曲線の微小曲率半径	G-CU-CR			
3.2.2.	3.2.2.1.	サーフェスパッチ間の隙間	G-SU-LG			
	3.2.2.2.	サーフェスパッチ間の折れ	G-SU-NT			0.5deg
	3.2.2.3.	サーフェスパッチ間の曲率不連続	G-SU-NS			
	3.2.2.4.	微小曲面/サーフェスパッチ	G-SU-TI			0.01mm
	3.2.2.5.	狭い曲面/サーフェスパッチ	G-SU-NA			
	3.2.2.6.	相対的に狭い隣接パッチ	G-SU-RN			
	3.2.2.7.	縮退した曲面/サーフェスパッチ	G-SU-DC			
	3.2.2.8.	曲面の隣接辺の最小角度	G-SU-DP			
	3.2.2.9.	近接した曲面/ノット	G-SU-IK			
	3.2.2.10.	曲面の自己干渉	G-SU-IS			
	3.2.2.11.	重複曲面	G-SU-EM			
	3.2.2.12.	曲面の最大次数	G-SU-HD			
	3.2.2.13.	平面状曲面の最大次数	G-SU-ID			
	3.2.2.14.	最大サーフェスパッチ数	G-SU-FG			
	3.2.2.15.	未使用サーフェスパッチ	G-SU-UN			
	3.2.2.16.	曲面のねじれ	G-SU-FO			
	3.2.2.17.	曲面の波打ち	G-SU-WV			
	3.2.2.18.	曲面の微小曲率半径	G-SU-CR			
3.2.2.19.	複数フェースから使用される曲面	G-SU-MU				
3.2.3.	3.2.3.1.	微小エッジ	G-ED-TI			0.01mm
	3.2.3.2.	エッジループの最大セグメント数	G-ED-FG			
	3.2.3.3.	解析表現のエッジ	G-ED-AN			
	3.2.3.4.	閉じたエッジ	G-ED-CL			
	3.2.3.5.	エッジ方向と曲線方向の不整合	G-ED-IO			
3.2.4.	3.2.4.1.	エッジ間の隙間	G-LO-LG			0.01mm
	3.2.4.2.	エッジループの自己干渉	G-LO-IS			
	3.2.4.3.	エッジ間の鋭い角度	G-LO-SA			0.5deg
	3.2.4.4.	エッジループの向き	G-LO-IT			
3.2.5.	3.2.5.1.	エッジとベース曲面の隙間	G-FA-EG			
	3.2.5.2.	頂点とベース曲面の隙間	G-FA-VG			
	3.2.5.3.	微小フェース	G-FA-TI			0.01mm
	3.2.5.4.	全体的に狭いフェース	G-FA-NA			
	3.2.5.5.	一部狭いフェース	G-FA-RN			
	3.2.5.6.	エッジループ間の干渉	G-FA-IS			0.01mm
	3.2.5.7.	重複フェース	G-FA-EM			
	3.2.5.8.	解析表現のフェース	G-FA-AN			
	3.2.5.9.	閉じたフェース	G-FA-CL			
	3.2.5.10.	フェース方向とベース曲面方向の不整合	G-FA-IT			
3.2.6.	3.2.6.1.	フェース間の隙間	G-SH-LG			0.01mm
	3.2.6.2.	フェース間の折れ	G-SH-NT			0.5deg
	3.2.6.3.	フェース間の曲率不連続	G-SH-NS			
	3.2.6.4.	シェル内の自己干渉	G-SH-IS			0.01mm
	3.2.6.5.	フェース間の鋭い角度	G-SH-SA			
	3.2.6.6.	フェース方向とシェル方向の不整合	G-SH-IT			
	3.2.6.7.	未使用のエッジ	G-SH-FR			
	3.2.6.8.	過度な共有エッジ	G-SH-NM			
	3.2.6.9.	過度な共有頂点	G-SH-OU			
3.2.7.	3.2.7.1.	微小ソリッド	G-SO-TI			0.01mm
	3.2.7.2.	シェル間の干渉	G-SO-IS			
	3.2.7.3.	重複ソリッド	G-SO-EM			
	3.2.7.4.	複数のボリュームからなるソリッド	G-SO-MU			
	3.2.7.5.	内部空洞のあるソリッド	G-SO-VO			

会社名: いすゞ自動車株式会社

カテゴリ	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目
4.2.1.	4.2.1.1.	会社ルールに反するCADバージョン	O-CM-CV		
	4.2.1.2.	会社ルールに反するCADスタートアップファイル	O-CM-SE		
	4.2.1.3.	会社ルールに反する基本精度設定	O-CM-AP		
	4.2.1.4.	ハイブリッドモデル	O-CM-HY		
	4.2.1.5.	マルチソリッドモデル	O-CM-MU		
	4.2.1.6.	CADモデル名への特殊文字の使用	O-CM-SC		
	4.2.1.7.	会社ルールに反するアイテム名	O-CM-IN		
	4.2.1.8.	会社ルールに反する物理ファイル名	O-CM-PN		
	4.2.1.9.	会社ルールに反する物理ファイルサイズ	O-CM-FS		
	4.2.1.10.	会社ルールに反するアイテム属性の設定	O-CM-IP		
	4.2.1.11.	アイテムデータ整合性の未確認	O-CM-IC		
	4.2.1.12.	会社ルールに反するリファレンスセット	O-CM-RS		
	4.2.1.13.	密封型エンティティ(Detail/Symbol等)の使用	O-CM-EE		
	4.2.1.14.	未使用密封型エンティティ(Detail/Symbol等)の存在	O-CM-UP		
	4.2.1.15.	同一密封型エンティティ(Detail/Symbol等)の存在	O-CM-IE		
	4.2.1.16.	空の密封型エンティティ(Detail/Symbol等)の存在	O-CM-EP		
	4.2.1.17.	外部アイテムの参照	O-CM-EI		
	4.2.1.18.	不整合なアイテム間の参照	O-CM-IR		
	4.2.1.19.	会社ルールに反する簡易表現	O-CM-SP		
	4.2.1.20.	モデリング領域外に存在する要素	O-CM-OB		
4.2.2.	4.2.2.1.	グループ使用の有無	O-GL-GU		
	4.2.2.2.	多数のグループ数	O-GL-NG		
	4.2.2.3.	同一要素の複数グループへの登録	O-GL-IG		
	4.2.2.4.	会社ルールに反するグループ	O-GL-IE		
	4.2.2.5.	会社ルールに反するグループ名	O-GL-GN		
	4.2.2.6.	レイヤ使用の有無	O-GL-LY		
	4.2.2.7.	多数のレイヤ数	O-GL-NL		
	4.2.2.8.	会社ルールに反するレイヤ	O-GL-LU		
	4.2.2.9.	会社ルールに反するインスタンスのレイヤ設定	O-GL-WL		
	4.2.2.10.	会社ルールに反するレイヤ名	O-GL-LN		
	4.2.2.11.	レイヤグループ使用の有無	O-GL-GL		
	4.2.2.12.	空のレイヤグループの存在	O-GL-EL		
	4.2.2.13.	会社ルールに反するレイヤグループ	O-GL-LA		
4.2.3.	4.2.3.1.	局所座標系の有無	O-CS-LS		
	4.2.3.2.	座標系選択の不整合	O-CS-NR		
	4.2.3.3.	会社ルールに反する座標系の向き	O-CS-NO		
	4.2.3.4.	会社ルールに反する座標系名	O-CS-CN		
	4.2.3.5.	会社ルールに反する単位系	O-CS-SU		
	4.2.3.6.	会社ルールに反するスケール設定	O-CS-SS		
	4.2.3.7.	トランスフォーメーションの存在	O-CS-TS		
4.2.4.	4.2.4.1.	アセンブリ構造の有無	O-AR-AR		
	4.2.4.2.	アセンブリ拘束条件の未定義	O-AR-UC		
4.2.5.	4.2.5.1.	モデル履歴使用の有無	O-SO-HN		
	4.2.5.2.	モデル履歴のアップデートの未実施	O-SO-HU		
	4.2.5.3.	モデル履歴が未定義	O-SO-MH		
	4.2.5.4.	未使用のモデル履歴の存在	O-SO-UH		
4.2.6.	4.2.6.1.	未解決(Unresolved)フォームフィーチャの使用	O-FE-UF		
	4.2.6.2.	非活動(inactive)フォームフィーチャの使用	O-FE-IF		
4.2.7.	4.2.7.1.	会社ルールに反する要素名	O-EL-EN		
	4.2.7.2.	未使用要素の存在	O-EL-UE		
	4.2.7.3.	会社ルールに反する要素タイプ	O-EL-PE		
	4.2.7.4.	ユーザ定義要素の使用	O-EL-UD		
4.2.8.	4.2.8.1.	会社ルールに反する色設定	O-PR-CO		
	4.2.8.2.	会社ルールに反する要素色	O-PR-EC		
	4.2.8.3.	会社ルールに反する点種	O-PR-PT		
	4.2.8.4.	会社ルールに反する線種	O-PR-LT		
	4.2.8.5.	会社ルールに反する線幅	O-PR-LW		
	4.2.8.6.	会社ルールに反する表示/非表示設定	O-PR-VE		
	4.2.8.7.	会社ルールに反するシェーディング表示モード	O-PR-DM		
	4.2.8.8.	要素名の表示	O-PR-ED		
	4.2.8.9.	会社ルールに反する拡大表示	O-PR-SR		
4.2.9.	4.2.9.1.	多数のスケッチ要素	O-SK-WD		
	4.2.9.2.	スケッチ要素間の拘束条件の未定義	O-SK-NC		

カテゴリ	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目
5.2.1.	5.2.1.1.	微小な図面要素	D-GE-TI		
	5.2.1.2.	重複した図面要素	D-GE-EM		
	5.2.1.3.	ISO非適合テキストの使用	D-OR-SC		
	5.2.1.4.	不明なCAD参照元情報	D-OR-SN		
	5.2.1.5.	外部データベース、ライブラリ参照の有無	D-OR-ER		
	5.2.1.6.	2D図の有無	D-OR-XD		
	5.2.1.7.	2D図の未更新	D-OR-DU		
	5.2.1.8.	2D、3D連携の有無	D-OR-DL		
	5.2.1.9.	多数の図面シート数	D-OR-ND		
	5.2.1.10.	会社ルールに反するプロット範囲設定	D-OR-PF		
	5.2.1.11.	図面フレーム領域の未定義	D-OR-VF		
	5.2.1.12.	ブランクビューの存在	D-OR-EV		
	5.2.1.13.	会社ルールに反するビュー名	D-OR-VN		
	5.2.1.14.	未使用座標系の存在	D-OR-CS		
	5.2.1.15.	フェイク寸法の使用	D-OR-FD		
	5.2.1.16.	会社ルールに反する寸法表示精度	D-OR-DI		
	5.2.1.17.	図面寸法の非連携	D-OR-AD		
	5.2.1.18.	会社ルールに反するビュー依存オブジェクト	D-OR-VD		
	5.2.1.19.	会社ルールに反する投影方法	D-OR-VP		

その他の項目	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

この表は、JAMA/JAPIA PDQガイドライン V4.1の項目リストで
 使用している項目の「記入欄」に次のマークを付けて下さい
 同一尺度の場合は「」、同一種類であるが尺度が異なる場合は「」
 にて記入してください。
 この表に記載されている項目以外をチェックしている場合は
 「その他の項目」に記載をお願いします。

データ交換運用関連 サプライヤ提供情報

フォーマット V2.0 改定: 2021/9/13

会社名 **カワサキモーターズ**

記載日 **2026年6月4日**

[1] 運用システム データ交換様式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

記載にあたっては、各項目のコメントも参考にして下さい。

システム	二輪/四輪 区分	バージョン			システム構成		データ交換様式		補足	
		現行Ver	次期Ver.	切替予定時期	標準パッケージ	OS	Native	汎用		
CAD	CATIA	二輪と四輪	R33SP3HF27	R35SP4	Aug-26	MD2	Windows11 24H2	CATPart CATProduct CATDrawing	STEP JGES dxf TIFF	
VIEWER	Acrobat Reader	二輪と四輪	2020							
	Web3D Player	二輪と四輪	12.2							

[2] オンライン授受方式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

システム名称	利用回線	接続方式	補足
サプライヤポータル	InterNet	インターネット+専用Web	事前に申請の必要有
SECURE DELIVER	InterNet	インターネット+専用Web	事前に申請の必要有

[3] オフライン授受方式 (オフラインでの運用が可能な場合は記載して下さい。)

CD-Rでの授受

[4] 環境設定(カスタマイズ設定)問い合わせ先 (各システムのサポート先や問合せ先を記載下さい。)

システム	部署	補足
CAD	技術管理総括部 技術管理部 開発推進課 企画本部 オペレーション企画総括部 情報システム部	
VIEWER	同上	
オンライン授受	同上	
Officeソフト	同上	

[5] OfficeソフトのVer (取引先とやり取りする可能性のあるsoftをお記載下さい。)

ソフト名	バージョン	補足
MS Office	MS365	

[6] PDQチェックの適応 (PDQチェックの運用有無を選択下さい。使用するPDQツールが決まっていれば、併せて記載下さい。)

適応状況	○適応無し	◎独自仕様で運用(変更なし)	☑独自仕様で運用(変更あり)	補足
必要PDQツール	3DxS UITE、Q-Checker			

調査へのご協力、有難うございました。

適用しているPDQ項目としきい値

カテゴリ	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目	しきい値
曲線	3.2.1.1.	セグメント間の隙間	G-CU-LG			
	3.2.1.2.	セグメント間の折れ	G-CU-NT			
	3.2.1.3.	セグメント間の曲率不連続	G-CU-NS			
	3.2.1.4.	微小曲線/セグメント	G-CU-TI			
	3.2.1.5.	近接した曲線ノット	G-CU-IK			
	3.2.1.6.	曲線の自己干渉	G-CU-IS			
	3.2.1.7.	重複曲線	G-CU-EM			
	3.2.1.8.	曲線の最大次数	G-CU-HD			
	3.2.1.9.	直線状曲線の最大次数	G-CU-ID			
	3.2.1.10.	最大セグメント数	G-CU-FG			
	3.2.1.11.	平面曲線の波打ち	G-CU-WV			
	3.2.1.12.	曲線の微小曲率半径	G-CU-CR			
曲面	3.2.2.1.	サーフェスパッチ間の隙間	G-SU-LG			
	3.2.2.2.	サーフェスパッチ間の折れ	G-SU-NT			
	3.2.2.3.	サーフェスパッチ間の曲率不連続	G-SU-NS			
	3.2.2.4.	微小曲面/サーフェスパッチ	G-SU-TI			
	3.2.2.5.	狭い曲面/サーフェスパッチ	G-SU-NA			
	3.2.2.6.	相対的に狭い隣接パッチ	G-SU-RN			
	3.2.2.7.	縮退した曲面/サーフェスパッチ	G-SU-DC			
	3.2.2.8.	曲面の隣接辺の最小角度	G-SU-DP			
	3.2.2.9.	近接した曲面ノット	G-SU-IK			
	3.2.2.10.	曲面の自己干渉	G-SU-IS			
	3.2.2.11.	重複曲面	G-SU-EM			
	3.2.2.12.	曲面の最大次数	G-SU-HD			
	3.2.2.13.	平面状曲面の最大次数	G-SU-ID			
	3.2.2.14.	最大サーフェスパッチ数	G-SU-FG			
	3.2.2.15.	未使用サーフェスパッチ	G-SU-UN			
	3.2.2.16.	曲面のねじれ	G-SU-FO			
	3.2.2.17.	曲面の波打ち	G-SU-WV			
	3.2.2.18.	曲面の微小曲率半径	G-SU-CR			
3.2.2.19.	複数フェースから使用される曲面	G-SU-MU				
エッジ	3.2.3.1.	微小エッジ	G-ED-TI			
	3.2.3.2.	エッジループの最大セグメント数	G-ED-FG			
	3.2.3.3.	解析表現のエッジ	G-ED-AN			
	3.2.3.4.	閉じたエッジ	G-ED-CL			
	3.2.3.5.	エッジ方向と曲線方向の不整合	G-ED-IO			
エッジループ	3.2.4.1.	エッジ間の隙間	G-LO-LG			
	3.2.4.2.	エッジループの自己干渉	G-LO-IS			
	3.2.4.3.	エッジ間の鋭い角度	G-LO-SA			
	3.2.4.4.	エッジループの向き	G-LO-IT			
フェース	3.2.5.1.	エッジとベース曲面の隙間	G-FA-EG			
	3.2.5.2.	頂点とベース曲面の隙間	G-FA-VG			
	3.2.5.3.	微小フェース	G-FA-TI			
	3.2.5.4.	全体的に狭いフェース	G-FA-NA			
	3.2.5.5.	一部狭いフェース	G-FA-RN			
	3.2.5.6.	エッジループ間の干渉	G-FA-IS			
	3.2.5.7.	重複フェース	G-FA-EM			
	3.2.5.8.	解析表現のフェース	G-FA-AN			
	3.2.5.9.	閉じたフェース	G-FA-CL			
	3.2.5.10.	フェース方向とベース曲面方向の不整合	G-FA-IT			
シェル	3.2.6.1.	フェース間の隙間	G-SH-LG			
	3.2.6.2.	フェース間の折れ	G-SH-NT			
	3.2.6.3.	フェース間の曲率不連続	G-SH-NS			
	3.2.6.4.	シェルの自己干渉	G-SH-IS			
	3.2.6.5.	フェース間の鋭い角度	G-SH-SA			
	3.2.6.6.	フェース方向とシェル方向の不整合	G-SH-IT			
	3.2.6.7.	未使用のエッジ	G-SH-FR			
	3.2.6.8.	過度な共有エッジ	G-SH-NM			
ソリッド	3.2.6.9.	過度な共有頂点	G-SH-OU			
	3.2.7.1.	微小ソリッド	G-SO-TI			
	3.2.7.2.	シェル間の干渉	G-SO-IS			
	3.2.7.3.	重複ソリッド	G-SO-EM			
	3.2.7.4.	複数のボリウムからなるソリッド	G-SO-MU			
	3.2.7.5.	内部空洞のあるソリッド	G-SO-VO			

会社名:カワサキモータース株式会社

カテゴリ	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目
CADモデル	4.2.1.1.	会社ルールに反するCADバージョン	O-CM-CV		
	4.2.1.2.	会社ルールに反するCADスタートアップファイル	O-CM-NT		
	4.2.1.3.	会社ルールに反する基本精度設定	O-CM-AP		
	4.2.1.4.	ハイブリッドモデル	O-CM-HY		
	4.2.1.5.	マルチソリッドモデル	O-CM-MU		
	4.2.1.6.	CADモデル名への特殊文字の使用	O-CM-SC		
	4.2.1.7.	会社ルールに反するアイテム名	O-CM-IN		
	4.2.1.8.	会社ルールに反する物理ファイル名	O-CM-PN		
	4.2.1.9.	会社ルールに反する物理ファイルサイズ	O-CM-FS		
	4.2.1.10.	会社ルールに反するアイテム属性の設定	O-CM-IP		
	4.2.1.11.	アイテムデータ整合性の未確認	O-CM-IC		
	4.2.1.12.	会社ルールに反するリファレンスセット	O-CM-RS		
	4.2.1.13.	密封型エンティティ (Detail/Symbol等) の使用	O-CM-EE		
	4.2.1.14.	未使用密封型エンティティ (Detail/Symbol等) の存在	O-CM-UP		
	4.2.1.15.	同一密封型エンティティ (Detail/Symbol等) の存在	O-CM-IE		
	4.2.1.16.	空の密封型エンティティ (Detail/Symbol等) の存在	O-CM-EP		
	4.2.1.17.	外部アイテムの参照	O-CM-EI		
	4.2.1.18.	不整合なアイテム間の参照	O-CM-IR		
	4.2.1.19.	会社ルールに反する簡易表現	O-CM-SP		
	4.2.1.20.	モデリング領域外に存在する要素	O-CM-OB		
グループ/レイヤ	4.2.2.1.	グループ使用の有無	O-GL-GU		
	4.2.2.2.	多数のグループ数	O-GL-NG		
	4.2.2.3.	同一要素の複数グループへの登録	O-GL-IG		
	4.2.2.4.	会社ルールに反するグループ	O-GL-IE		
	4.2.2.5.	会社ルールに反するグループ名	O-GL-GN		
	4.2.2.6.	レイヤ使用の有無	O-GL-LY		
	4.2.2.7.	多数のレイヤ数	O-GL-NL		
	4.2.2.8.	会社ルールに反するレイヤ	O-GL-LU		
	4.2.2.9.	会社ルールに反するインスタンスのレイヤ設定	O-GL-WL		
	4.2.2.10.	会社ルールに反するレイヤ名	O-GL-LN		
	4.2.2.11.	レイヤグループ使用の有無	O-GL-GL		
	4.2.2.12.	空のレイヤグループの存在	O-GL-EL		
	4.2.2.13.	会社ルールに反するレイヤグループ	O-GL-LA		
座標系	4.2.3.1.	局所座標系の有無	O-CS-LS		
	4.2.3.2.	座標系選択の不整合	O-CS-NR		
	4.2.3.3.	会社ルールに反する座標系の向き	O-CS-NO		
	4.2.3.4.	会社ルールに反する座標系名	O-CS-CN		
	4.2.3.5.	会社ルールに反する単位系	O-CS-SU		
	4.2.3.6.	会社ルールに反するスケール設定	O-CS-SS		
	4.2.3.7.	トランスフォーメーションの存在	O-CS-TS		
アセンブリ	4.2.4.1.	アセンブリ構造の有無	O-AR-AR		
	4.2.4.2.	アセンブリ拘束条件の未定義	O-AR-UC		
ソリッド	4.2.5.1.	モデル履歴使用の有無	O-SO-HN		
	4.2.5.2.	モデル履歴のアップデートの未実施	O-SO-HU		
	4.2.5.3.	モデル履歴が未定義	O-SO-MH		
	4.2.5.4.	未使用のモデル履歴の存在	O-SO-UH		
フォーム フィーチャ	4.2.6.1.	未解決 (Unresolved) フォームフィーチャの使用	O-FE-UF		
	4.2.6.2.	非活動 (inactive) フォームフィーチャの使用	O-FE-IF		
要素	4.2.7.1.	会社ルールに反する要素名	O-EL-EN		
	4.2.7.2.	未使用要素の存在	O-EL-UE		
	4.2.7.3.	会社ルールに反する要素タイプ	O-EL-PE		
	4.2.7.4.	ユーザ定義要素の使用	O-EL-UD		
表示	4.2.8.1.	会社ルールに反する色設定	O-PR-CO		
	4.2.8.2.	会社ルールに反する要素色	O-PR-EC		
	4.2.8.3.	会社ルールに反する点種	O-PR-PT		
	4.2.8.4.	会社ルールに反する線種	O-PR-LT		
	4.2.8.5.	会社ルールに反する線幅	O-PR-LW		
	4.2.8.6.	会社ルールに反する表示 / 非表示設定	O-PR-VE		
	4.2.8.7.	会社ルールに反するシェーディング表示モード	O-PR-DM		
	4.2.8.8.	要素名の表示	O-PR-ED		
	4.2.8.9.	会社ルールに反する拡大表示	O-PR-SR		
スケッチ	4.2.9.1.	多数のスケッチ要素	O-SK-WD		
	4.2.9.2.	スケッチ要素間の拘束条件の未定義	O-SK-NC		

カテゴリ	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目
ドローイング	5.2.1.1.	微小な図面要素	D-GE-TI		
	5.2.1.2.	重複した図面要素	D-GE-EM		
	5.2.1.3.	ISO非適合テキストの使用	D-OR-SC		
	5.2.1.4.	不明なCAD参照元情報	D-OR-SN		
	5.2.1.5.	外部データベース、ライブラリ参照の有無	D-OR-ER		
	5.2.1.6.	2D図の有無	D-OR-XD		
	5.2.1.7.	2D図の未更新	D-OR-DU		
	5.2.1.8.	2D, 3D連携の有無	D-OR-DL		
	5.2.1.9.	多数の図面シート数	D-OR-ND		
	5.2.1.10.	会社ルールに反するプロット範囲設定	D-OR-PF		
	5.2.1.11.	図面フレーム領域の未定義	D-OR-VF		
	5.2.1.12.	ブランクビューの存在	D-OR-EV		
	5.2.1.13.	会社ルールに反するビュー名	D-OR-VN		
	5.2.1.14.	未使用座標系の存在	D-OR-CS		
	5.2.1.15.	フェイク寸法の使用	D-OR-FD		
	5.2.1.16.	会社ルールに反する寸法表示精度	D-OR-DI		
	5.2.1.17.	図面寸法の非連携	D-OR-AD		
	5.2.1.18.	会社ルールに反するビュー依存オブジェクト	D-OR-VD		
	5.2.1.19.	会社ルールに反する投影方法	D-OR-VF		

その他の項目	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

この表は、JAMA/JAPIA PDQガイドライン V4.1の項目リストで
 使用している項目の「記入欄」に次のマークを付けて下さい
 同一尺度の場合は「」、同一種類であるが尺度が異なる場合は「」
 にて記入してください。
 この表に記載されている項目以外をチェックしている場合は
 「その他の項目」に記載をお願いします。

データ交換運用関連 サプライヤ提供情報

フォーマット V2.0 改定: 2021/9/13

会社名 **スズキ株式会社**

記載日 **2026年5月13日**

[1] 運用システム データ交換様式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

記載にあたっては、各項目のコメントも参考にして下さい。

システム	二輪/四輪 区分	バージョン			システム構成		データ交換様式		補足
		現行Ver	次期Ver.	切替予定時期	標準パッケージ	OS	Native	汎用	
CAD	NX	二輪と四輪	NX2306	NX2706	Jan-28	NX Mach3	Windows11 64bit 24H2	part	IGES JT V10.5(b-rep有/ 無) STEP A214
VIEWER	TcVis	二輪と四輪	14.2	未定	未定				
	JT2GO	二輪と四輪	14.3	未定	未定				

[2] オンライン授受方式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

システム名称	利用回線	接続方式	補足
STAGE(弊社内製ソフト)	JNX, Internet	JNX, Internet-VPN	

[3] オフライン授受方式 (オフラインでの運用が可能な場合は記載して下さい。)

--

[4] 環境設定(カスタマイズ設定)問い合わせ先 (各システムのサポート先や問合せ先を記載下さい。)

システム	部署	補足
CAD	ITシステム部 技術システム課	
VIEWER	ITシステム部 技術システム課	
オンライン授受	ITシステム部 技術システム課	
Officeソフト	IT基盤部IT管理業務改善課	

[5] OfficeソフトのVer (取引先とやり取りする可能性のあるsoftをお記載下さい。)

ソフト名	バージョン	補足
MS Office	365	

[6] PDQチェックの適応 (PDQチェックの運用有無を選択下さい。使用するPDQツールが決まっていれば、併せて記載下さい。)

適応状況	<input type="radio"/> 適応無し	<input checked="" type="radio"/> 独自仕様で運用(変更なし)	<input type="radio"/> 自社仕様で運用(変更あり)	補足
必要PDQツール				

調査へのご協力、有難うございました。

適用しているPDQ項目としきい値

会社名: スズキ株式会社

カテゴリ	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目	しきい値
3.2.1.	3.2.1.1.	セグメント間の隙間	G-CU-LG			
	3.2.1.2.	セグメント間の折れ	G-CU-TI			
	3.2.1.3.	セグメント間の曲率不連続	G-CU-NS			
	3.2.1.4.	微小曲線/セグメント	G-CU-TI			
	3.2.1.5.	近接した曲線/ノット	G-CU-IK			
	3.2.1.6.	曲線の自己干渉	G-CU-IS			
	3.2.1.7.	重複曲線	G-CU-EM			
	3.2.1.8.	曲線の最大次数	G-CU-HD			
	3.2.1.9.	直線状曲線の最大次数	G-CU-ID			
	3.2.1.10.	最大セグメント数	G-CU-FG			
	3.2.1.11.	平面曲線の波打ち	G-CU-WV			
	3.2.1.12.	曲線の微小曲率半径	G-CU-CR			
3.2.2.	3.2.2.1.	サーフェスパッチ間の隙間	G-SU-LG			
	3.2.2.2.	サーフェスパッチ間の折れ	G-SU-NT			
	3.2.2.3.	サーフェスパッチ間の曲率不連続	G-SU-NS			
	3.2.2.4.	微小曲面/サーフェスパッチ	G-SU-TI			
	3.2.2.5.	狭い曲面/サーフェスパッチ	G-SU-NA			
	3.2.2.6.	相対的に狭い隣接パッチ	G-SU-RN			
	3.2.2.7.	縮退した曲面/サーフェスパッチ	G-SU-DC			
	3.2.2.8.	曲面の隣接辺の最小角度	G-SU-DP			
	3.2.2.9.	近接した曲面/ノット	G-SU-IK			
	3.2.2.10.	曲面の自己干渉	G-SU-IS			
	3.2.2.11.	重複曲面	G-SU-EM			
	3.2.2.12.	曲面の最大次数	G-SU-HD			
	3.2.2.13.	平面状曲面の最大次数	G-SU-ID			
	3.2.2.14.	最大サーフェスパッチ数	G-SU-FG			
	3.2.2.15.	未使用サーフェスパッチ	G-SU-UN			
	3.2.2.16.	曲面のねじれ	G-SU-FO			
	3.2.2.17.	曲面の波打ち	G-SU-WV			
	3.2.2.18.	曲面の微小曲率半径	G-SU-CR			
3.2.2.19.	複数フェースから使用される曲面	G-SU-MU				
3.2.3.	3.2.3.1.	微小エッジ	G-ED-TI			
	3.2.3.2.	エッジループの最大セグメント数	G-ED-FG			
	3.2.3.3.	解析表現のエッジ	G-ED-AN			
	3.2.3.4.	閉じたエッジ	G-ED-CL			
	3.2.3.5.	エッジ方向と曲線方向の不整合	G-ED-IO			
3.2.4.	3.2.4.1.	エッジ間の隙間	G-LO-LG			
	3.2.4.2.	エッジループの自己干渉	G-LO-IS			
	3.2.4.3.	エッジ間の鋭い角度	G-LO-SA			
	3.2.4.4.	エッジループの向き	G-LO-IT			
3.2.5.	3.2.5.1.	エッジとベース曲面の隙間	G-FA-EG			
	3.2.5.2.	頂点とベース曲面の隙間	G-FA-VG			
	3.2.5.3.	微小フェース	G-FA-TI			
	3.2.5.4.	全体的に狭いフェース	G-FA-NA			
	3.2.5.5.	一部狭いフェース	G-FA-RN			
	3.2.5.6.	エッジループ間の干渉	G-FA-IS			
	3.2.5.7.	重複フェース	G-FA-EM			
	3.2.5.8.	解析表現のフェース	G-FA-AN			
	3.2.5.9.	閉じたフェース	G-FA-CL			
	3.2.5.10.	フェース方向とベース曲面方向の不整合	G-FA-IT			
3.2.6.	3.2.6.1.	フェース間の隙間	G-SH-LG			
	3.2.6.2.	フェース間の折れ	G-SH-NT			
	3.2.6.3.	フェース間の曲率不連続	G-SH-NS			
	3.2.6.4.	シェル内の自己干渉	G-SH-IS			
	3.2.6.5.	フェース間の鋭い角度	G-SH-SA			
	3.2.6.6.	フェース方向とシェル方向の不整合	G-SH-IT			
3.2.7.	3.2.7.1.	微小ソリッド	G-SO-TI			
	3.2.7.2.	シェル間の干渉	G-SO-IS			
	3.2.7.3.	重複ソリッド	G-SO-EM			
	3.2.7.4.	複数のボリュームからなるソリッド	G-SO-MU			
	3.2.7.5.	内部空洞のあるソリッド	G-SO-VO			

カテゴリ	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目
4.2.1.	4.2.1.1.	会社ルールに反するCADバージョン	O-CM-CV		
	4.2.1.2.	会社ルールに反するCADスタートアップファイル	O-CM-SE		
	4.2.1.3.	会社ルールに反する基本精度設定	O-CM-AP		
	4.2.1.4.	ハイブリッドモデル	O-CM-HY		
	4.2.1.5.	マルチソリッドモデル	O-CM-MU		
	4.2.1.6.	CADモデル名への特殊文字の使用	O-CM-SC		
	4.2.1.7.	会社ルールに反するアイテム名	O-CM-IN		
	4.2.1.8.	会社ルールに反する物理ファイル名	O-CM-PN		
	4.2.1.9.	会社ルールに反する物理ファイルサイズ	O-CM-FS		
	4.2.1.10.	会社ルールに反するアイテム属性の設定	O-CM-IP		
	4.2.1.11.	アイテムデータ整合性の未確認	O-CM-IC		
	4.2.1.12.	会社ルールに反するリファレンスセット	O-CM-RS		
	4.2.1.13.	密封型エンティティ(Detail/Symbol等)の使用	O-CM-EE		
	4.2.1.14.	未使用密封型エンティティ(Detail/Symbol等)の存在	O-CM-UP		
	4.2.1.15.	同一密封型エンティティ(Detail/Symbol等)の存在	O-CM-IE		
	4.2.1.16.	空の密封型エンティティ(Detail/Symbol等)の存在	O-CM-EP		
	4.2.1.17.	外部アイテムの参照	O-CM-EI		
	4.2.1.18.	不整合なアイテム間の参照	O-CM-IR		
	4.2.1.19.	会社ルールに反する簡易表現	O-CM-SP		
	4.2.1.20.	モデリング領域外に存在する要素	O-CM-OB		
4.2.2.	4.2.2.1.	グループ使用の有無	O-GL-GU		
	4.2.2.2.	多数のグループ数	O-GL-NG		
	4.2.2.3.	同一要素の複数グループへの登録	O-GL-IG		
	4.2.2.4.	会社ルールに反するグループ	O-GL-IE		
	4.2.2.5.	会社ルールに反するグループ名	O-GL-GN		
	4.2.2.6.	レイヤ使用の有無	O-GL-LY		
	4.2.2.7.	多数のレイヤ数	O-GL-NL		
	4.2.2.8.	会社ルールに反するレイヤ	O-GL-LU		
	4.2.2.9.	会社ルールに反するインスタンスのレイヤ設定	O-GL-WL		
	4.2.2.10.	会社ルールに反するレイヤ名	O-GL-LN		
	4.2.2.11.	レイヤグループ使用の有無	O-GL-GL		
	4.2.2.12.	空のレイヤグループの存在	O-GL-EL		
	4.2.2.13.	会社ルールに反するレイヤグループ	O-GL-LA		
4.2.3.	4.2.3.1.	局所座標系の有無	O-CS-LS		
	4.2.3.2.	座標系選択の不整合	O-CS-NR		
	4.2.3.3.	会社ルールに反する座標系の向き	O-CS-NO		
	4.2.3.4.	会社ルールに反する座標系名	O-CS-CN		
	4.2.3.5.	会社ルールに反する単位系	O-CS-SU		
	4.2.3.6.	会社ルールに反するスケール設定	O-CS-SS		
	4.2.3.7.	トランスフォーメーションの存在	O-CS-TS		
4.2.4.	4.2.4.1.	アセンブリ構造の有無	O-AR-AR		
	4.2.4.2.	アセンブリ拘束条件の未定義	O-AR-UC		
4.2.5.	4.2.5.1.	モデル履歴使用の有無	O-SO-HN		
	4.2.5.2.	モデル履歴のアップデートの未実施	O-SO-HU		
	4.2.5.3.	モデル履歴が未定義	O-SO-MH		
	4.2.5.4.	未使用のモデル履歴の存在	O-SO-UH		
4.2.6.	4.2.6.1.	未解決(Unresolved)フォームフィーチャの使用	O-FE-UF		
	4.2.6.2.	非活動(inactive)フォームフィーチャの使用	O-FE-IF		
4.2.7.	4.2.7.1.	会社ルールに反する要素名	O-EL-EN		
	4.2.7.2.	未使用要素の存在	O-EL-UE		
	4.2.7.3.	会社ルールに反する要素タイプ	O-EL-PE		
	4.2.7.4.	ユーザ定義要素の使用	O-EL-UD		
4.2.8.	4.2.8.1.	会社ルールに反する色設定	O-PR-CO		
	4.2.8.2.	会社ルールに反する要素色	O-PR-EC		
	4.2.8.3.	会社ルールに反する点種	O-PR-PT		
	4.2.8.4.	会社ルールに反する線種	O-PR-LT		
	4.2.8.5.	会社ルールに反する線幅	O-PR-LW		
	4.2.8.6.	会社ルールに反する表示/非表示設定	O-PR-VE		
	4.2.8.7.	会社ルールに反するシェーディング表示モード	O-PR-DM		
	4.2.8.8.	要素名の表示	O-PR-ED		
	4.2.8.9.	会社ルールに反する拡大表示	O-PR-SR		
4.2.9.	4.2.9.1.	多数のスケッチ要素	O-SK-WD		
	4.2.9.2.	スケッチ要素間の拘束条件の未定義	O-SK-NC		

カテゴリ	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目
5.2.1.	5.2.1.1.	微小な図面要素	D-GE-TI		
	5.2.1.2.	重複した図面要素	D-GE-EM		
	5.2.1.3.	ISO非適合テキストの使用	D-OR-SC		
	5.2.1.4.	不明なCAD参照元情報	D-OR-SN		
	5.2.1.5.	外部データベース、ライブラリ参照の有無	D-OR-ER		
	5.2.1.6.	2D図の有無	D-OR-XD		
	5.2.1.7.	2D図の未更新	D-OR-DU		
	5.2.1.8.	2D, 3D連携の有無	D-OR-DL		
	5.2.1.9.	多数の図面シート数	D-OR-ND		
	5.2.1.10.	会社ルールに反するプロット範囲設定	D-OR-PP		
	5.2.1.11.	図面フレーム領域の未定義	D-OR-VF		
	5.2.1.12.	プランクビューの存在	D-OR-EV		
	5.2.1.13.	会社ルールに反するビュー名	D-OR-VN		
	5.2.1.14.	未使用座標系の存在	D-OR-CS		
	5.2.1.15.	フェイク寸法の使用	D-OR-FD		
	5.2.1.16.	会社ルールに反する寸法表示精度	D-OR-DI		
	5.2.1.17.	図面寸法の非連携	D-OR-AD		
	5.2.1.18.	会社ルールに反するビュー依存オブジェクト	D-OR-VD		
	5.2.1.19.	会社ルールに反する投影方法	D-OR-VP		

その他の項目	
1	未更新または抑制されたフィーチャが無いか?
2	図面サイズが適正か? (A0 - A4, ロールサイズ5000mmまで)
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

この表は、JAMA/JAPIA PDQガイドライン V4.1の項目リストで
 使用している項目の「記入欄」に次のマークを付けて下さい
 同一尺度の場合は「」、同一種類であるが尺度が異なる場合は「」
 にて記入してください。
 この表に記載されている項目以外をチェックしている場合は
 「その他の項目」に記載をお願いします。

データ交換運用関連 サプライヤ提供情報

フォーマット V2.0 改定: 2021/9/13

会社名 **株式会社 SUBARU**

記載日 **2026年5月27日**

[1] 運用システム データ交換様式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

記載にあたっては、各項目のコメントも参考にして下さい。

システム	二輪/四輪 区分	バージョン			システム構成		データ交換様式		補足	
		現行Ver	次期Ver.	切替予定時期	標準パッケージ	OS	Native	汎用		
CAD	CATIA	四輪	V5R31SP5			HD2	Windows 11	CATPart CATProduct CATDrawing	IGES STEP DXF	
VIEWER	XVL	四輪	10(U-XVL)				Windows 10	xv0 xv2		

[2] オンライン授受方式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

システム名称	利用回線	接続方式	補足
SNET-SV	インターネット	インターネット	

[3] オフライン授受方式 (オフラインでの運用が可能な場合は記載して下さい。)

--

[4] 環境設定(カスタマイズ設定)問い合わせ先 (各システムのサポート先や問合せ先を記載下さい。)

システム	部署	補足
CAD	エンジニアリング情報管理部 エンジニアリングIT企画第四課	
VIEWER	エンジニアリング情報管理部 エンジニアリングIT企画第四課	
オンライン授受	エンジニアリング情報管理部 エンジニアリングIT企画第三課	
Officeソフト	IT戦略本部 ITインフラ部	

[5] OfficeソフトのVer (取引先とやり取りする可能性のあるsoftをお記載下さい。)

ソフト名	バージョン	補足
Microsoft Office	2302	今年度中にバージョンを上げる可能性あり

[6] PDQチェックの適応 (PDQチェックの運用有無を選択下さい。使用するPDQツールが決まっていれば、併せて記載下さい。)

適応状況	◎ 適応無し ○ 独自仕様で運用 (変更なし) ◐ 独自仕様で運用 (変更あり)	補足
必要PDQツール		

調査へのご協力、有難うございました。

データ交換運用関連 サプライヤ提供情報

フォーマット V2.0 改定: 2021/9/13

会社名 **ダイハツ工業**

記載日 **2026年5月12日**

[1] 運用システム データ交換様式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

記載にあたっては、各項目のコメントも参考にして下さい。

システム	二輪/四輪 区分	バージョン			システム構成		データ交換様式		補足	
		現行Ver	次期Ver.	切替予定時期	標準パッケージ	OS	Native	汎用		
CAD	CATIA V5	四輪	V5-6R2021 SP5 HF106	未定	未定		Windows11	CATPart CATProduct CATDrawing	IGES Step	
	Creo	四輪	10.0.6.0	未定	未定		Windows11	Creo	IGES Step	
VIEWER	XVL Player	四輪	23.0b	未定	未定		Windows11			

[2] オンライン授受方式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

システム名称	利用回線	接続方式	補足
トヨタグループシステム	専用回線		
D.e-Express	専用回線		

[3] オフライン授受方式 (オフラインでの運用が可能な場合は記載して下さい。)

--

[4] 環境設定(カスタマイズ設定)問い合わせ先 (各システムのサポート先や問合せ先を記載下さい。)

システム	部署	補足
CAD	DX推進部 開発情報室	
VIEWER	DX推進部 開発情報室	
オンライン授受	DX推進部 開発情報室	
Officeソフト	DX推進部 ITインフラ室	

[5] OfficeソフトのVer (取引先とやり取りする可能性のあるsoftをお記載下さい。)

ソフト名	バージョン	補足
Office	M365	

[6] PDQチェックの適応 (PDQチェックの運用有無を選択下さい。使用するPDQツールが決まっていれば、併せて記載下さい。)

適応状況	<input checked="" type="radio"/> 適応無し <input type="radio"/> 独自仕様で運用(変更なし) <input checked="" type="radio"/> 自社仕様で運用(変更あり)	補足
必要PDQツール		

調査へのご協力、有難うございました。

データ交換運用関連 サプライヤ提供情報

フォーマット V2.0 改定: 2021/9/13

会社名 **トヨタ自動車株式会社**

記載日 **2026年5月11日**

[1] 運用システム データ交換様式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

記載にあたっては、各項目のコメントも参考して下さい。

システム	二輪/四輪 区分	バージョン			システム構成		データ交換様式		補 足
		現行Ver	次期Ver.	切替予定時期	標準パッケージ	OS	Native	汎用	
CAD	CATIA V5	四輪	V5 R31 SP5	未定	未定		Windows 11 24H2	CATPart CATProduct CATDrawing	
	Creo	四輪	10.0	未定	未定	Creo Design Advance	Windows 11 24H2	ASM PRT DRW	
VIEWER	XVL Studio	四輪	23.1a	24.1a	27年1月末	XVL Studio Pro	Windows 11 24H2	xv2	Step AP214(インポートのみ)
	CreoView	四輪	9.1	12.1	27年1月		Windows 11 24H2		

[2] オンライン授受方式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

システム名称	利用回線	接続方式	補 足
内製授受システム	D.e-NET,JNX,	InternetVPN,Internet (ISDN, 専用線)	

[3] オフライン授受方式 (オフラインでの運用が可能な場合は記載して下さい。)

--

[4] 環境設定(カスタマイズ設定)問い合わせ先 (各システムのサポート先や問合せ先を記載下さい。)

システム	部 署	補 足
CAD	開発・製造IT推進部	
VIEWER	開発・製造IT推進部	
オンライン授受	開発・製造IT推進部	
Officeソフト		

[5] OfficeソフトのVer (取引先とやり取りする可能性のあるsoftをお記載下さい。)

ソフト名	バージョン	補 足
Office	365	

[6] PDQチェックの適応 (PDQチェックの運用有無を選択下さい。使用するPDQツールが決まっていれば、併せて記載下さい。)

適応状況	◎適応無し ○ 独自仕様で運用 (変更なし) ◯独自仕様で運用 (変更あり)	補 足
必要PDQツール		

調査へのご協力、有難うございました。

データ交換運用関連 サプライヤ提供情報

フォーマット V3.0 改訂: #####

会社名 **日産自動車株式会社**

記載日 **2026年5月23日**

[1] 運用システム データ交換様式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

記載にあたっては、各項目のコメントも参考して下さい。

システム	二輪/四輪 区分	バージョン			システム構成		データ交換様式		補足
		現行Ver	次期Ver.	切替予定時期	標準パッケージ	OS	Native	汎用	
CAD	NSTK (Nissan Supplier Toolkit)	V9	未定	未定	NX 2306 Tc 14.2.0.4 Oracle 19c	Windows10 Windows Server 2019	Briefcase (TCXML & NX native)		NSTKのWindows 11動作については、構成によってはSiemensによるcertificationがないが、自社内では動作することを確認している。 (既存のパートナー様へは、詳細をお知らせ済み。)
VIEWER									

[2] オンライン授受方式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

システム名称	利用回線	接続方式	補足
TCP3	JNX or Internet	JNX or Internet VPN + 専用Web	

[3] オフライン授受方式 (オフラインでの運用が可能な場合は記載して下さい。)

--

[4] 環境設定(カスタマイズ設定)問い合わせ先 (各システムのサポート先や問合せ先を記載下さい。)

システム	部署	補足
CAD	NSTK代理店	
VIEWER		
オンライン授受	専用窓口: cadpromotion@mail.nissan.co.jp	通常の日産のヘルプデスクでは受け付けておりません。左記専用窓口へのお問い合わせをお願いしております。
Officeソフト		

[5] OfficeソフトのVer (取引先とやり取りする可能性のあるsoftをお記載下さい。)

ソフト名	バージョン	補足
MS Excel		

[6] PDQチェックの適応 (PDQチェックの運用有無を選択下さい。使用するPDQツールが決まっていれば、併せて記載下さい。)

適応状況	<input type="radio"/> 適応無し <input checked="" type="radio"/> 独自仕様で運用(変更なし) <input type="checkbox"/> 独自仕様で運用(変更あり)	補足
必要PDQツール		

調査へのご協力、有難うございました。

適用しているPDQ項目としきい値

カテゴリ	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目	しきい値
3.2.1.	3.2.1.1.	セグメント間の隙間	G-CU-LG			
	3.2.1.2.	セグメント間の折れ	G-CU-NT			≦d ⁺
	3.2.1.3.	セグメント間の曲率不連続	G-CU-NS			
	3.2.1.4.	微小曲線/セグメント	G-CU-TI			L≦0.005
	3.2.1.5.	近接した曲線/ノット	G-CU-IK			
	3.2.1.6.	曲線の自己干渉	G-CU-IS			
	3.2.1.7.	重複曲線	G-CU-EM			
	3.2.1.8.	曲線の最大次数	G-CU-HD			
	3.2.1.9.	直線状曲線の最大次数	G-CU-ID			
	3.2.1.10.	最大セグメント数	G-CU-FG			
	3.2.1.11.	平面曲線の波打ち	G-CU-WV			
	3.2.1.12.	曲線の微小曲率半径	G-CU-CR			
3.2.2.	3.2.2.1.	サーフェスパッチ間の隙間	G-SU-LG			
	3.2.2.2.	サーフェスパッチ間の折れ	G-SU-NT			≦d ⁺
	3.2.2.3.	サーフェスパッチ間の曲率不連続	G-SU-NS			
	3.2.2.4.	微小曲面/サーフェスパッチ	G-SU-TI			
	3.2.2.5.	狭い曲面/サーフェスパッチ	G-SU-NA			L≦0.005
	3.2.2.6.	相対的に狭い隣接パッチ	G-SU-RN			
	3.2.2.7.	縮退した曲面/サーフェスパッチ	G-SU-DC			
	3.2.2.8.	曲面の隣接辺の最小角度	G-SU-DP			
	3.2.2.9.	近接した曲面/ノット	G-SU-IK			
	3.2.2.10.	曲面の自己干渉	G-SU-IS			
	3.2.2.11.	重複曲面	G-SU-EM			
	3.2.2.12.	曲面の最大次数	G-SU-HD			
	3.2.2.13.	平面状曲面の最大次数	G-SU-ID			
	3.2.2.14.	最大サーフェスパッチ数	G-SU-FG			
	3.2.2.15.	未使用サーフェスパッチ	G-SU-UN			
	3.2.2.16.	曲面のねじれ	G-SU-FO			
	3.2.2.17.	曲面の波打ち	G-SU-WV			
	3.2.2.18.	曲面の微小曲率半径	G-SU-CR			
3.2.2.19.	複数フェースから使用される曲面	G-SU-MU				
3.2.3.	3.2.3.1.	微小エッジ	G-ED-TI			
	3.2.3.2.	エッジループの最大セグメント数	G-ED-FG			
	3.2.3.3.	解析表現のエッジ	G-ED-AN			
	3.2.3.4.	閉じたエッジ	G-ED-CL			
	3.2.3.5.	エッジ方向と曲線方向の不整合	G-ED-IO			
3.2.4.	3.2.4.1.	エッジ間の隙間	G-LO-LG			
	3.2.4.2.	エッジループの自己干渉	G-LO-IS			
	3.2.4.3.	エッジ間の鋭い角度	G-LO-SA			
	3.2.4.4.	エッジループの向き	G-LO-IT		◎	
3.2.5.	3.2.5.1.	エッジとベース曲面の隙間	G-FA-EG			d≦0.01
	3.2.5.2.	頂点とベース曲面の隙間	G-FA-VG			
	3.2.5.3.	微小フェース	G-FA-TI			
	3.2.5.4.	全体的に狭いフェース	G-FA-NA			L≦0.01
	3.2.5.5.	一部狭いフェース	G-FA-RN			
	3.2.5.6.	エッジループ間の干渉	G-FA-IS			
	3.2.5.7.	重複フェース	G-FA-EM			Warning項目
	3.2.5.8.	解析表現のフェース	G-FA-AN			
	3.2.5.9.	閉じたフェース	G-FA-CL			
	3.2.5.10.	フェース方向とベース曲面方向の不整合	G-FA-IT			
3.2.6.	3.2.6.1.	フェース間の隙間	G-SH-LG			d≦0.01
	3.2.6.2.	フェース間の折れ	G-SH-NT			
	3.2.6.3.	フェース間の曲率不連続	G-SH-NS			
	3.2.6.4.	シェルルの自己干渉	G-SH-IS			
	3.2.6.5.	フェース間の鋭い角度	G-SH-SA			
	3.2.6.6.	フェース方向とシェルル方向の不整合	G-SH-IT			
	3.2.6.7.	未使用のエッジ	G-SH-FR			
3.2.7.	3.2.7.1.	微小ソリッド	G-SO-TI			
	3.2.7.2.	シェル間の干渉	G-SO-IS			
	3.2.7.3.	重複ソリッド	G-SO-EM			
3.2.7.	3.2.7.4.	複数のボリウムからなるソリッド	G-SO-MU			
	3.2.7.5.	内部空洞のあるソリッド	G-SO-VO			

会社名:日産自動車(株)

カテゴリ	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目
4.2.1.	4.2.1.1.	会社ルールに反するCADバージョン	O-CM-CV		
	4.2.1.2.	会社ルールに反するCADスタートアップファイル	O-CM-SE		
	4.2.1.3.	会社ルールに反する基本精度設定	O-CM-AP		
	4.2.1.4.	ハイブリッドモデル	O-CM-HY		
	4.2.1.5.	マルチソリッドモデル	O-CM-MU		
	4.2.1.6.	CADモデル名への特殊文字の使用	O-CM-SC		
	4.2.1.7.	会社ルールに反するアイテム名	O-CM-IN		
	4.2.1.8.	会社ルールに反する物理ファイル名	O-CM-PN		
	4.2.1.9.	会社ルールに反する物理ファイルサイズ	O-CM-FS		
	4.2.1.10.	会社ルールに反するアイテム属性の設定	O-CM-IP		
	4.2.1.11.	アイテムデータ整合性の未確認	O-CM-IC		
	4.2.1.12.	会社ルールに反するリファレンスセット	O-CM-RS		
	4.2.1.13.	密封型エンティティ(Detail/Symbol等)の使用	O-CM-EE		
	4.2.1.14.	未使用密封型エンティティ(Detail/Symbol等)の存在	O-CM-UP		
	4.2.1.15.	同一密封型エンティティ(Detail/Symbol等)の存在	O-CM-IE		
	4.2.1.16.	空の密封型エンティティ(Detail/Symbol等)の存在	O-CM-EP		
	4.2.1.17.	外部アイテムの参照	O-CM-EI		
	4.2.1.18.	不整合なアイテム間の参照	O-CM-IR		
	4.2.1.19.	会社ルールに反する簡易表現	O-CM-SP		
	4.2.1.20.	モデリング領域外に存在する要素	O-CM-OB		
4.2.2.	4.2.2.1.	グループ使用の有無	O-GL-GU		
	4.2.2.2.	多数のグループ数	O-GL-NG		
	4.2.2.3.	同一要素の複数グループへの登録	O-GL-IG		
	4.2.2.4.	会社ルールに反するグループ	O-GL-IE		
	4.2.2.5.	会社ルールに反するグループ名	O-GL-GN		
	4.2.2.6.	レイヤ使用の有無	O-GL-LY		
	4.2.2.7.	多数のレイヤ数	O-GL-NL		
	4.2.2.8.	会社ルールに反するレイヤ	O-GL-LU		
	4.2.2.9.	会社ルールに反するインスタンスのレイヤ設定	O-GL-WL		
	4.2.2.10.	会社ルールに反するレイヤ名	O-GL-LN		
	4.2.2.11.	レイヤグループ使用の有無	O-GL-GL		
	4.2.2.12.	空のレイヤグループの存在	O-GL-EL		
	4.2.2.13.	会社ルールに反するレイヤグループ	O-GL-LA		
4.2.3.	4.2.3.1.	局所座標系の有無	O-CS-LS		
	4.2.3.2.	座標系選択の不整合	O-CS-NR		
	4.2.3.3.	会社ルールに反する座標系の向き	O-CS-NO		
	4.2.3.4.	会社ルールに反する座標系名	O-CS-CN		
	4.2.3.5.	会社ルールに反する単位系	O-CS-SU		
	4.2.3.6.	会社ルールに反するスケール設定	O-CS-SS		
	4.2.3.7.	トランスフォーメーションの存在	O-CS-TS		
4.2.4.	4.2.4.1.	アセンブリ構造の有無	O-AR-AR		
	4.2.4.2.	アセンブリ拘束条件の未定義	O-AR-UC		
4.2.5.	4.2.5.1.	モデル履歴使用の有無	O-SO-HN		
	4.2.5.2.	モデル履歴のアップデートの未実施	O-SO-HU		
	4.2.5.3.	モデル履歴が未定義	O-SO-MH		
	4.2.5.4.	未使用のモデル履歴の存在	O-SO-UH		
4.2.6.	4.2.6.1.	未解決(Unresolved)フォームフィーチャの使用	O-FE-UF		
	4.2.6.2.	非活動(inactive)フォームフィーチャの使用	O-FE-IF		
4.2.7.	4.2.7.1.	会社ルールに反する要素名	O-EL-EN		
	4.2.7.2.	未使用要素の存在	O-EL-UE		
	4.2.7.3.	会社ルールに反する要素タイプ	O-EL-PE		
	4.2.7.4.	ユーザ定義要素の使用	O-EL-UD		
4.2.8.	4.2.8.1.	会社ルールに反する色設定	O-PR-CO		
	4.2.8.2.	会社ルールに反する要素色	O-PR-EC		
	4.2.8.3.	会社ルールに反する点種	O-PR-PT		
	4.2.8.4.	会社ルールに反する線種	O-PR-LT		
	4.2.8.5.	会社ルールに反する線幅	O-PR-LW		
	4.2.8.6.	会社ルールに反する表示/非表示設定	O-PR-VE		
	4.2.8.7.	会社ルールに反するシェーディング表示モード	O-PR-DM		
	4.2.8.8.	要素名の表示	O-PR-ED		
	4.2.8.9.	会社ルールに反する拡大表示	O-PR-SR		
4.2.9.	4.2.9.1.	多数のスケッチ要素	O-SK-WD		
	4.2.9.2.	スケッチ要素間の拘束条件の未定義	O-SK-NC		

カテゴリ	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目
5.2.1.	5.2.1.1.	微小な図面要素	D-GE-TI		
	5.2.1.2.	重複した図面要素	D-GE-EM		
	5.2.1.3.	ISO非適合テキストの使用	D-OR-SC		
	5.2.1.4.	不明なCAD参照元情報	D-OR-SN		
	5.2.1.5.	外部データベース、ライブラリ参照の有無	D-OR-ER		
	5.2.1.6.	2D図の有無	D-OR-XD		
	5.2.1.7.	2D図の未更新	D-OR-DU		
	5.2.1.8.	2D、3D連携の有無	D-OR-DL		
	5.2.1.9.	多数の図面シート数	D-OR-ND		
	5.2.1.10.	会社ルールに反するプロット範囲設定	D-OR-PF		
	5.2.1.11.	図面フレーム領域の未定義	D-OR-VF		
	5.2.1.12.	ブランクビューの存在	D-OR-EV		
	5.2.1.13.	会社ルールに反するビュー名	D-OR-VN		
	5.2.1.14.	未使用座標系の存在	D-OR-CS		
	5.2.1.15.	フェイク寸法の使用	D-OR-FD		
	5.2.1.16.	会社ルールに反する寸法表示精度	D-OR-DI		
	5.2.1.17.	図面寸法の非連携	D-OR-AD		
	5.2.1.18.	会社ルールに反するビュー依存オブジェクト	D-OR-VD		
	5.2.1.19.	会社ルールに反する投影方法	D-OR-VP		

その他の項目	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

この表は、JAMA/JAPIA PDQガイドライン V4.1の項目リストです
 使用している項目の「記入欄」に次のマークを付けて下さい
 同一尺度の場合は「」、同一種類であるが尺度が異なる場合は「」
 にて記入してください。
 この表に記載されている項目以外をチェックしている場合は
 「その他の項目」に記載をお願いします。

データ交換運用関連 サプライヤ提供情報

フォーマット V2.0 改定: 2021/9/13

会社名 **日野自動車株式会社**

記載日 **2026年5月29日**

[1] 運用システム データ交換様式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

記載にあたっては、各項目のコメントも参考して下さい。

システム	二輪/四輪区分	バージョン			システム構成		データ交換様式		補足	
		現行Ver	次期Ver.	切替予定時期	標準パッケージ	OS	Native	汎用		
CAD	CATIA	四輪	V5 R31 (SP5)	未定	未定	-	Windows 10 Enterprise 64 bit 21H2	CATPart CATProduct CATDrawing	STEP	正式なデータ交換様式はNativeだが、CATIAを所持していない仕入先の場合、中間ファイルでも対応している ・Windows11化は26年10月までに対応実施予定。
	Creo	四輪	10.0.6	未定	未定	-	同上	prt asm drw	STEP IGES	正式なデータ交換様式はNativeだが、Creoを所持していない仕入先の場合、中間ファイルでも対応している ・Windows11化は26年10月までに対応実施予定。
VIEWER	XVL	四輪	Pro/Premium 21.0a	未定	未定		Windows 10 Enterprise 64 bit 21H2			ファイルのフォーマットを記載 DR、帳票作成、3D組図作成等で利用
	JT	四輪	13	未定	未定		同上			ファイルのフォーマットを記載 DRで利用

[2] オンライン授受方式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

システム名称	利用回線	接続方式	補足
Co-DE	イントラSSL	専用Web	
D.e.Express	イントラSSL	専用Web	

[3] オフライン授受方式 (オフラインでの運用が可能な場合は記載して下さい。)

CD-R、DVD-R 対応OS: Windows

[4] 環境設定(カスタマイズ設定)問い合わせ先 (各システムのサポート先や問合せ先を記載下さい。)

システム	部署	補足
CAD	日野自動車IT企画部	
VIEWER	日野自動車IT企画部	
オンライン授受	日野自動車IT企画部	
Officeソフト	日野自動車IT企画部	

[5] OfficeソフトのVer (取引先とやり取りする可能性のあるsoftをお記載下さい。)

ソフト名	バージョン	補足
MS Office	M365	

[6] PDQチェックの適応 (PDQチェックの運用有無を選択下さい。使用するPDQツールが決まっていれば、併せて記載下さい。)

適応状況	<input checked="" type="radio"/> 適応無し <input type="radio"/> 独自仕様で運用(変更なし) <input type="radio"/> 自社仕様で運用(変更あり)	補足
必要PDQツール		

調査へのご協力、有難うございました。

データ交換運用関連 サプライヤ提供情報

フォーマット V2.0 改定: 2021/9/13

会社名 **本田技研工業**

記載日 **2026年5月13日**

[1] 運用システム データ交換様式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

記載にあたっては、各項目のコメントも参考して下さい。

システム	二輪/四輪 区分	バージョン			システム構成		データ交換様式		補足	
		現行Ver	次期Ver.	切替予定時期	標準パッケージ	OS	Native	汎用		
CAD	CATIA	二輪と四輪	CATIA V5-6R2022 SP2 HF23	未定	未定	HD2	Windows 11 Enterprise 64bit / 23H2	CATPart CATProduct CATDrawing	-	OS:Windows 11 Enterprise 64bit / 25H2 2026/8月予定
	CATIA	四輪	3DEX R2022xFD03	R2026xFD04 (検討中)	未定	MES+TAD	同上	HPDF(3D XML,XML,TIFF,PDF) 3D XML	JT,STEPX	同上 (標準パッケージ変更理由:V6作図環境の最小構成@2026)
VIEWER	Dawin3D	四輪	Dawin3D 4.15.1	-	-	In house application	Windows 11 Enterprise 64bit / 23H2	HPDF(3D XML,JT,STPX,XML, TIFF,PDF)	-	OS:Windows 11 Enterprise 64bit / 25H2 2026/8月予定
	CATIA V6(DRN)	四輪	・3DEX R2022xFD03(DRN) ・3DEX R2026X(DRN)	・R2026xFD04 (検討中) ・DS Cloud(最新版)	未定	DRN	同上	HPDF(3D XML,XML,TIFF,PDF)		同上
	JT2GO	二輪と四輪	JT2Go 13.2.2	必要に応じて バージョンアップ	-		同上	JT	-	-

[2] オンライン授受方式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

システム名称	利用回線	接続方式	補足
社内システム(GSN)	公衆回線	インターネット	

[3] オフライン授受方式 (オフラインでの運用が可能な場合は記載して下さい。)

無し

[4] 環境設定(カスタマイズ設定)問い合わせ先 (各システムのサポート先や問合せ先を記載下さい。)

システム	部署	補足
CAD	〒321-3393 栃木県芳賀郡芳賀町下高根沢4630 本田技研工業株式会社 デジタル統括部 ECMシステム部 四輪生産エンジニアリングシステム課 玉村/毘野	
VIEWER	同上	
オンライン授受	同上	
Officeソフト	同上	

[5] OfficeソフトのVer (取引先とやり取りする可能性のあるsoftをお記載下さい。)

ソフト名	バージョン	補足
MS Office	Microsoft 365 Apps for enterprise 64bit	

[6] PDQチェックの適応 (PDQチェックの運用有無を選択下さい。使用するPDQツールが決まっていれば、併せて記載下さい。)

適応状況	● 適応無し	○ 独自仕様で運用(変更なし)	独自仕様で運用(変更あり)	補足
必要PDQツール				

調査へのご協力、有難うございました。

適用しているPDQ項目としきい値

会社名: 本田技研工業株式会社

カテゴリ	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目	しきい値
3.2.1.	3.2.1.1.	セグメント間の隙間	G-CU-LG			
	3.2.1.2.	セグメント間の折れ	G-CU-NT			
	3.2.1.3.	セグメント間の曲率不連続	G-CU-NS			
	3.2.1.4.	微小曲線/セグメント	G-CU-TI			
	3.2.1.5.	近接した曲線/ノット	G-CU-IK			
	3.2.1.6.	曲線の自己干渉	G-CU-IS			
	3.2.1.7.	重複曲線	G-CU-EM			
	3.2.1.8.	曲線の最大次数	G-CU-HD			
	3.2.1.9.	直線状曲線の最大次数	G-CU-ID			
	3.2.1.10.	最大セグメント数	G-CU-FG			
	3.2.1.11.	平面曲線の波打ち	G-CU-WV			
	3.2.1.12.	曲線の微小曲率半径	G-CU-CR			
3.2.2.	3.2.2.1.	サーフェスパッチ間の隙間	G-SU-LG			
	3.2.2.2.	サーフェスパッチ間の折れ	G-SU-NT			
	3.2.2.3.	サーフェスパッチ間の曲率不連続	G-SU-NS			
	3.2.2.4.	微小曲面/サーフェスパッチ	G-SU-TI			
	3.2.2.5.	狭い曲面/サーフェスパッチ	G-SU-NA			
	3.2.2.6.	相対的に狭い隣接パッチ	G-SU-RN			
	3.2.2.7.	縮退した曲面/サーフェスパッチ	G-SU-DC			
	3.2.2.8.	曲面の隣接辺の最小角度	G-SU-DP			
	3.2.2.9.	近接した曲面/ノット	G-SU-IK			
	3.2.2.10.	曲面の自己干渉	G-SU-IS			
	3.2.2.11.	重複曲面	G-SU-EM			
	3.2.2.12.	曲面の最大次数	G-SU-HD			
	3.2.2.13.	平面状曲面の最大次数	G-SU-ID			
	3.2.2.14.	最大サーフェスパッチ数	G-SU-FG			
	3.2.2.15.	未使用サーフェスパッチ	G-SU-UN			
	3.2.2.16.	曲面のねじれ	G-SU-FO			
	3.2.2.17.	曲面の波打ち	G-SU-WV			
	3.2.2.18.	曲面の微小曲率半径	G-SU-CR			
3.2.2.19.	複数フェースから使用される曲面	G-SU-MU				
3.2.3.	3.2.3.1.	微小エッジ	G-ED-TI			
	3.2.3.2.	エッジループの最大セグメント数	G-ED-FG			
	3.2.3.3.	解析表現のエッジ	G-ED-AN			
	3.2.3.4.	閉じたエッジ	G-ED-CL			
	3.2.3.5.	エッジ方向と曲線方向の不整合	G-ED-IO			
3.2.4.	3.2.4.1.	エッジ間の隙間	G-LO-LG			
	3.2.4.2.	エッジループの自己干渉	G-LO-IS			
	3.2.4.3.	エッジ間の鋭い角度	G-LO-SA			
	3.2.4.4.	エッジループの向き	G-LO-IT			
3.2.5.	3.2.5.1.	エッジとベース曲面の隙間	G-FA-EG			
	3.2.5.2.	頂点とベース曲面の隙間	G-FA-VG			
	3.2.5.3.	微小フェース	G-FA-TI			
	3.2.5.4.	全体的に狭いフェース	G-FA-NA			
	3.2.5.5.	一部狭いフェース	G-FA-RN			
	3.2.5.6.	エッジループ間の干渉	G-FA-IS			
	3.2.5.7.	重複フェース	G-FA-EM			
	3.2.5.8.	解析表現のフェース	G-FA-AN			
	3.2.5.9.	閉じたフェース	G-FA-CL			
	3.2.5.10.	フェース方向とベース曲面方向の不整合	G-FA-IT			
3.2.6.	3.2.6.1.	フェース間の隙間	G-SH-LG			0.005
	3.2.6.2.	フェース間の折れ	G-SH-NT			0.5
	3.2.6.3.	フェース間の曲率不連続	G-SH-NS			
	3.2.6.4.	シェル内の自己干渉	G-SH-IS			
	3.2.6.5.	フェース間の鋭い角度	G-SH-SA			
3.2.7.	3.2.7.1.	微小ソリッド	G-SO-TI			
	3.2.7.2.	シェル間の干渉	G-SO-IS			
	3.2.7.3.	重複ソリッド	G-SO-EM			
	3.2.7.4.	複数のボリュームからなるソリッド	G-SO-MU			
	3.2.7.5.	内部空洞のあるソリッド	G-SO-VO			

カテゴリ	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目
4.2.1.	4.2.1.1.	会社ルールに反するCADバージョン	O-CM-CV		
	4.2.1.2.	会社ルールに反するCADスタートアップファイル	O-CM-SE		
	4.2.1.3.	会社ルールに反する基本精度設定	O-CM-AP		
	4.2.1.4.	ハイブリッドモデル	O-CM-HY		
	4.2.1.5.	マルチソリッドモデル	O-CM-MU		
	4.2.1.6.	CADモデル名への特殊文字の使用	O-CM-SC		
	4.2.1.7.	会社ルールに反するアイテム名	O-CM-IN		
	4.2.1.8.	会社ルールに反する物理ファイル名	O-CM-PN		
	4.2.1.9.	会社ルールに反する物理ファイルサイズ	O-CM-FS		
	4.2.1.10.	会社ルールに反するアイテム属性の設定	O-CM-IP		
	4.2.1.11.	アイテムデータ整合性の未確認	O-CM-IC		
	4.2.1.12.	会社ルールに反するリファレンスセット	O-CM-RS		
	4.2.1.13.	密封型エンティティ(Detail/Symbol等)の使用	O-CM-EE		
	4.2.1.14.	未使用密封型エンティティ(Detail/Symbol等)の存在	O-CM-UP		
	4.2.1.15.	同一密封型エンティティ(Detail/Symbol等)の存在	O-CM-IE		
	4.2.1.16.	空の密封型エンティティ(Detail/Symbol等)の存在	O-CM-EP		
	4.2.1.17.	外部アイテムの参照	O-CM-EI		
	4.2.1.18.	不整合なアイテム間の参照	O-CM-IR		
	4.2.1.19.	会社ルールに反する簡易表現	O-CM-SP		
	4.2.1.20.	モデリング領域外に存在する要素	O-CM-OB		
4.2.2.	4.2.2.1.	グループ使用の有無	O-GL-GU		
	4.2.2.2.	多数のグループ数	O-GL-NG		
	4.2.2.3.	同一要素の複数グループへの登録	O-GL-IG		
	4.2.2.4.	会社ルールに反するグループ	O-GL-IE		
	4.2.2.5.	会社ルールに反するグループ名	O-GL-GN		
	4.2.2.6.	レイヤ使用の有無	O-GL-LY		
	4.2.2.7.	多数のレイヤ数	O-GL-NL		
	4.2.2.8.	会社ルールに反するレイヤ	O-GL-LU		
	4.2.2.9.	会社ルールに反するインスタンスのレイヤ設定	O-GL-WL		
	4.2.2.10.	会社ルールに反するレイヤ名	O-GL-LN		
	4.2.2.11.	レイヤグループ使用の有無	O-GL-GL		
	4.2.2.12.	空のレイヤグループの存在	O-GL-EL		
	4.2.2.13.	会社ルールに反するレイヤグループ	O-GL-LA		
4.2.3.	4.2.3.1.	局所座標系の有無	O-CS-LS		
	4.2.3.2.	座標系選択の不整合	O-CS-NR		
	4.2.3.3.	会社ルールに反する座標系の向き	O-CS-NO		
	4.2.3.4.	会社ルールに反する座標系名	O-CS-CN		
	4.2.3.5.	会社ルールに反する単位系	O-CS-SU		
	4.2.3.6.	会社ルールに反するスケール設定	O-CS-SS		
	4.2.3.7.	トランスフォーメーションの存在	O-CS-TS		
4.2.4.	4.2.4.1.	アセンブリ構造の有無	O-AR-AR		
	4.2.4.2.	アセンブリ拘束条件の未定義	O-AR-UC		
	4.2.5.1.	モデル履歴使用の有無	O-SO-HN		
	4.2.5.2.	モデル履歴のアップデートの未実施	O-SO-HU		
4.2.5.	4.2.5.3.	モデル履歴が未定義	O-SO-MH		
	4.2.5.4.	未使用のモデル履歴の存在	O-SO-UH		
	4.2.6.1.	未解決(Unresolved)フォームフィーチャの使用	O-FE-UF		
	4.2.6.2.	非活動(inactive)フォームフィーチャの使用	O-FE-IF		
4.2.7.	4.2.7.1.	会社ルールに反する要素名	O-EL-EN		
	4.2.7.2.	未使用要素の存在	O-EL-UE		
	4.2.7.3.	会社ルールに反する要素タイプ	O-EL-PE		
	4.2.7.4.	ユーザ定義要素の使用	O-EL-UD		
4.2.8.	4.2.8.1.	会社ルールに反する色設定	O-PR-CO		
	4.2.8.2.	会社ルールに反する要素色	O-PR-EC		
	4.2.8.3.	会社ルールに反する点種	O-PR-PT		
	4.2.8.4.	会社ルールに反する線種	O-PR-LT		
	4.2.8.5.	会社ルールに反する線幅	O-PR-LW		
	4.2.8.6.	会社ルールに反する表示/非表示設定	O-PR-VE		
	4.2.8.7.	会社ルールに反するシェーディング表示モード	O-PR-DM		
	4.2.8.8.	要素名の表示	O-PR-ED		
	4.2.8.9.	会社ルールに反する拡大表示	O-PR-SR		
4.2.9.	4.2.9.1.	多数のスケッチ要素	O-SK-WD		
	4.2.9.2.	スケッチ要素間の拘束条件の未定義	O-SK-NC		

カテゴリ	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目
5.2.1.	5.2.1.1.	微小な図面要素	D-GE-TI		
	5.2.1.2.	重複した図面要素	D-GE-EM		
	5.2.1.3.	ISO非適合テキストの使用	D-OR-SC		
	5.2.1.4.	不明なCAD参照元情報	D-OR-SN		
	5.2.1.5.	外部データベース、ライブラリ参照の有無	D-OR-ER		
	5.2.1.6.	2D図の有無	D-OR-XD		
	5.2.1.7.	2D図の未更新	D-OR-DU		
	5.2.1.8.	2D、3D連携の有無	D-OR-DL		
	5.2.1.9.	多数の図面シート数	D-OR-ND		
	5.2.1.10.	会社ルールに反するプロット範囲設定	D-OR-PP		
	5.2.1.11.	図面フレーム領域の未定義	D-OR-VF		
	5.2.1.12.	ブランクビューの存在	D-OR-EV		
	5.2.1.13.	会社ルールに反するビュー名	D-OR-VN		
	5.2.1.14.	未使用座標系の存在	D-OR-CS		
	5.2.1.15.	フェイク寸法の使用	D-OR-FD		
	5.2.1.16.	会社ルールに反する寸法表示精度	D-OR-DI		
	5.2.1.17.	図面寸法の非連携	D-OR-AD		
	5.2.1.18.	会社ルールに反するビュー依存オブジェクト	D-OR-VD		
	5.2.1.19.	会社ルールに反する投影方法	D-OR-VP		

その他の項目	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

この表は、JAMA/JAPIA PDQガイドライン V4.1の項目リストで
 使用している項目の「記入欄」に次のマークを付けて下さい
 同一尺度の場合は「」、同一種類であるが尺度が異なる場合は「」
 にて記入してください。
 この表に記載されている項目以外をチェックしている場合は
 「その他の項目」に記載をお願いします。

データ交換運用関連 サプライヤ提供情報

フォーマット V2.0 改定: 2021/9/13

会社名 **マツダ株式会社**

記載日 **2026年5月18日**

[1] 運用システム データ交換様式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

記載にあたっては、各項目のコメントも参考にして下さい。

システム	二輪/四輪 区分	バージョン			システム構成		データ交換様式		補足	
		現行Ver	次期Ver.	切替予定時期	標準パッケージ	OS	Native	汎用		
CAD	NX	四輪	2412	2806	'28/12	標準NX, マツダNXサプライヤ バンドル	Windows11 Ent 64bit移行	PART	JT ver9.5	JTは提供のみ
VIEWER	TcVis	四輪	14.3	2512	'26/9					

[2] オンライン授受方式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

システム名称	利用回線	接続方式	補足
マツダFPTサーバ	JNX	専用線、インターネットVPN(JNX-LA)	

[3] オフライン授受方式 (オフラインでの運用が可能な場合は記載して下さい。)

--

[4] 環境設定(カスタマイズ設定)問い合わせ先 (各システムのサポート先や問合せ先を記載下さい。)

システム	部署	補足
CAD	マツダ MDI&IT本部 エンジニアリングシステム部	
VIEWER	マツダ MDI&IT本部 エンジニアリングシステム部	
オンライン授受	マツダ クルマ開発本部 エンジニアリングシステム開発部 出図管理グループ	
Officeソフト	マツダ MDI&IT本部 インフラシステム部	

[5] OfficeソフトのVer (取引先とやり取りする可能性のあるsoftをお記載下さい。)

ソフト名	バージョン	補足
Microsoft M365	M365最新版	インフラ部門からの指示を受けてアップデート追従

[6] PDQチェックの適応 (PDQチェックの運用有無を選択下さい。使用するPDQツールが決まっていれば、併せて記載下さい。)

適応状況	○適応無し	●独自仕様で運用(変更なし)	☑独自仕様で運用(変更あり)	補足
必要PDQツール				

調査へのご協力、有難うございました。

適用しているPDQ項目としきい値

会社名: マツダ株式会社

カテゴリ	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目	しきい値
3.2.1.	曲線	3.2.1.1. セグメント間の隙間	G-CU-LG			
		3.2.1.2. セグメント間の折れ	G-CU-NT			
		3.2.1.3. セグメント間の曲率不連続	G-CU-NS			
		3.2.1.4. 微小曲線/セグメント	G-CU-TI			
		3.2.1.5. 近接した曲線/ノット	G-CU-IK			
		3.2.1.6. 曲線の自己干渉	G-CU-IS			
		3.2.1.7. 重複曲線	G-CU-EM			
		3.2.1.8. 曲線の最大次数	G-CU-HD			
		3.2.1.9. 直線状曲線の最大次数	G-CU-ID			
		3.2.1.10. 最大セグメント数	G-CU-FG			
		3.2.1.11. 平面曲線の波打ち	G-CU-WV			
		3.2.1.12. 曲線の微小曲率半径	G-CU-CR			
3.2.2.	曲面	3.2.2.1. サーフェスパッチ間の隙間	G-SU-LG			
		3.2.2.2. サーフェスパッチ間の折れ	G-SU-NT			
		3.2.2.3. サーフェスパッチ間の曲率不連続	G-SU-NS			
		3.2.2.4. 微小曲面/サーフェスパッチ	G-SU-TI			
		3.2.2.5. 狭い曲面/サーフェスパッチ	G-SU-NA			
		3.2.2.6. 相対的に狭い隣接パッチ	G-SU-RN			
		3.2.2.7. 縮退した曲面/サーフェスパッチ	G-SU-DC			
		3.2.2.8. 曲面の隣接辺の最小角度	G-SU-DP			
		3.2.2.9. 近接した曲面/ノット	G-SU-IK			
		3.2.2.10. 曲面の自己干渉	G-SU-IS			
		3.2.2.11. 重複曲面	G-SU-EM			
		3.2.2.12. 曲面の最大次数	G-SU-HD			
		3.2.2.13. 平面状曲面の最大次数	G-SU-ID			
		3.2.2.14. 最大サーフェスパッチ数	G-SU-FG			
		3.2.2.15. 未使用サーフェスパッチ	G-SU-UN			
		3.2.2.16. 曲面のねじれ	G-SU-FO			
		3.2.2.17. 曲面の波打ち	G-SU-WV			
		3.2.2.18. 曲面の微小曲率半径	G-SU-CR			
3.2.2.19. 複数フェースから使用される曲面	G-SU-MU					
3.2.3.	エッジ	3.2.3.1. 微小エッジ	G-ED-TI			
		3.2.3.2. エッジループの最大セグメント数	G-ED-FG			
		3.2.3.3. 解析表現のエッジ	G-ED-AN			
		3.2.3.4. 閉じたエッジ	G-ED-CL			
		3.2.3.5. エッジ方向と曲線方向の不整合	G-ED-IO			
3.2.4.	エッジループ	3.2.4.1. エッジ間の隙間	G-LO-LG			
		3.2.4.2. エッジループの自己干渉	G-LO-IS			
		3.2.4.3. エッジ間の鋭い角度	G-LO-SA			
		3.2.4.4. エッジループの向き	G-LO-IT			
3.2.5.	フェース	3.2.5.1. エッジとベース曲面の隙間	G-FA-EG			
		3.2.5.2. 頂点とベース曲面の隙間	G-FA-VG			
		3.2.5.3. 微小フェース	G-FA-TI			
		3.2.5.4. 全体的に狭いフェース	G-FA-NA			
		3.2.5.5. 一部狭いフェース	G-FA-RN			
		3.2.5.6. エッジループ間の干渉	G-FA-IS			
		3.2.5.7. 重複フェース	G-FA-EM			
		3.2.5.8. 解析表現のフェース	G-FA-AN			
		3.2.5.9. 閉じたフェース	G-FA-CL			
		3.2.5.10. フェース方向とベース曲面方向の不整合	G-FA-IT			
3.2.6.	シェル	3.2.6.1. フェース間の隙間	G-SH-LG			
		3.2.6.2. フェース間の折れ	G-SH-NT			
		3.2.6.3. フェース間の曲率不連続	G-SH-NS			
		3.2.6.4. シェルの自己干渉	G-SH-IS			
		3.2.6.5. フェース間の鋭い角度	G-SH-SA			
		3.2.6.6. フェース方向とシェル方向の不整合	G-SH-IT			
		3.2.6.7. 未使用のエッジ	G-SH-FR			
3.2.6.8. 過度な共有エッジ	G-SH-NM					
3.2.6.9. 過度な共有頂点	G-SH-OU					
3.2.7.	ソリッド	3.2.7.1. 微小ソリッド	G-SO-TI			
		3.2.7.2. シェル間の干渉	G-SO-IS			
		3.2.7.3. 重複ソリッド	G-SO-EM			
		3.2.7.4. 複数のボリュームからなるソリッド	G-SO-MU			
		3.2.7.5. 内部空洞のあるソリッド	G-SO-VO			

カテゴリ	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目
4.2.1.	CADモデル	4.2.1.1. 会社ルールに反するCADバージョン	O-CM-CV		
		4.2.1.2. 会社ルールに反するCADスタートアップファイル	O-CM-SE		
		4.2.1.3. 会社ルールに反する基本精度設定	O-CM-AP		
		4.2.1.4. ハイブリッドモデル	O-CM-HY		
		4.2.1.5. マルチソリッドモデル	O-CM-MU		
		4.2.1.6. CADモデル名への特殊文字の使用	O-CM-SC		
		4.2.1.7. 会社ルールに反するアイテム名	O-CM-IN		
		4.2.1.8. 会社ルールに反する物理ファイル名	O-CM-PN		
		4.2.1.9. 会社ルールに反する物理ファイルサイズ	O-CM-FS		
		4.2.1.10. 会社ルールに反するアイテム属性の設定	O-CM-IP		
		4.2.1.11. アイテムデータ整合性の未確認	O-CM-IC		
		4.2.1.12. 会社ルールに反するリファレンスセット	O-CM-RS		
		4.2.1.13. 密封型エンティティ(Detail/Symbol等)の使用	O-CM-EE		
		4.2.1.14. 未使用密封型エンティティ(Detail/Symbol等)の存在	O-CM-UP		
		4.2.1.15. 同一密封型エンティティ(Detail/Symbol等)の存在	O-CM-IE		
		4.2.1.16. 空の密封型エンティティ(Detail/Symbol等)の存在	O-CM-EP		
		4.2.1.17. 外部アイテムの参照	O-CM-EI		
		4.2.1.18. 不整合なアイテム間の参照	O-CM-IR		
		4.2.1.19. 会社ルールに反する簡易表現	O-CM-SP		
		4.2.1.20. モデリング領域外に存在する要素	O-CM-OB		
4.2.2.	グループ/レイヤ	4.2.2.1. グループ使用の有無	O-GL-GU		
		4.2.2.2. 多数のグループ数	O-GL-NG		
		4.2.2.3. 同一要素の複数グループへの登録	O-GL-IG		
		4.2.2.4. 会社ルールに反するグループ	O-GL-IE		
		4.2.2.5. 会社ルールに反するグループ名	O-GL-GN		
		4.2.2.6. レイヤ使用の有無	O-GL-LY		
		4.2.2.7. 多数のレイヤ数	O-GL-NL		
		4.2.2.8. 会社ルールに反するレイヤ	O-GL-LU		
		4.2.2.9. 会社ルールに反するインスタンスのレイヤ設定	O-GL-WL		
		4.2.2.10. 会社ルールに反するレイヤ名	O-GL-LN		
		4.2.2.11. レイヤグループ使用の有無	O-GL-GL		
		4.2.2.12. 空のレイヤグループの存在	O-GL-EL		
		4.2.2.13. 会社ルールに反するレイヤグループ	O-GL-LA		
4.2.3.	座標系	4.2.3.1. 局所座標系の有無	O-CS-LS		
		4.2.3.2. 座標系選択の不整合	O-CS-NR		
		4.2.3.3. 会社ルールに反する座標系の向き	O-CS-NO		
		4.2.3.4. 会社ルールに反する座標系名	O-CS-CN		
		4.2.3.5. 会社ルールに反する単位系	O-CS-SU		
		4.2.3.6. 会社ルールに反するスケール設定	O-CS-SS		
		4.2.3.7. トランスフォーメーションの存在	O-CS-TS		
4.2.4.	アセンブリ	4.2.4.1. アセンブリ構造の有無	O-AR-AR		
		4.2.4.2. アセンブリ拘束条件の未定義	O-AR-UC		
4.2.5.	ソリッド	4.2.5.1. モデル履歴使用の有無	O-SO-HN		
		4.2.5.2. モデル履歴のアップデートの未実施	O-SO-HU		
		4.2.5.3. モデル履歴が未定義	O-SO-MH		
		4.2.5.4. 未使用のモデル履歴の存在	O-SO-UH		
4.2.6.	フォーム フィーチャ	4.2.6.1. 未解決(Unresolved)フォームフィーチャの使用	O-FE-UF		
		4.2.6.2. 非活動(Inactive)フォームフィーチャの使用	O-FE-IF		
4.2.7.	要素	4.2.7.1. 会社ルールに反する要素名	O-EL-EN		
		4.2.7.2. 未使用要素の存在	O-EL-UE		
		4.2.7.3. 会社ルールに反する要素タイプ	O-EL-PE		
		4.2.7.4. ユーザ定義要素の使用	O-EL-UD		
4.2.8.	表示	4.2.8.1. 会社ルールに反する色設定	O-PR-CO		
		4.2.8.2. 会社ルールに反する要素色	O-PR-EC		
		4.2.8.3. 会社ルールに反する点種	O-PR-PT		
		4.2.8.4. 会社ルールに反する線種	O-PR-LT		
		4.2.8.5. 会社ルールに反する線幅	O-PR-LW		
		4.2.8.6. 会社ルールに反する表示/非表示設定	O-PR-VE		
		4.2.8.7. 会社ルールに反するシェーディング表示モード	O-PR-DM		
		4.2.8.8. 要素名の表示	O-PR-ED		
		4.2.8.9. 会社ルールに反する拡大表示	O-PR-SR		
4.2.9.	スケッチ	4.2.9.1. 多数のスケッチ要素	O-SK-WD		
		4.2.9.2. スケッチ要素間の拘束条件の未定義	O-SK-NC		

カテゴリ	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目
5.2.1.	ドローイング	5.2.1.1. 微小な図面要素	D-GE-TI		
		5.2.1.2. 重複した図面要素	D-GE-EM		
		5.2.1.3. ISO非適合テキストの使用	D-OR-SC		
		5.2.1.4. 不明なCAD参照元情報	D-OR-SN		
		5.2.1.5. 外部データベース、ライブラリ参照の有無	D-OR-ER		
		5.2.1.6. 2D図の有無	D-OR-XD		
		5.2.1.7. 2D図の未更新	D-OR-DU		
		5.2.1.8. 2D, 3D連携の有無	D-OR-DL		
		5.2.1.9. 多数の図面シート数	D-OR-ND		
		5.2.1.10. 会社ルールに反するプロット範囲設定	D-OR-PF		
		5.2.1.11. 図面フレーム領域の未定義	D-OR-VF		
		5.2.1.12. ブランクビューの存在	D-OR-EV		
		5.2.1.13. 会社ルールに反するビュー名	D-OR-VN		
		5.2.1.14. 未使用座標系の存在	D-OR-CS		
		5.2.1.15. フェイク寸法の使用	D-OR-FD		
		5.2.1.16. 会社ルールに反する寸法表示精度	D-OR-DI		
		5.2.1.17. 図面寸法の非連携	D-OR-AD		
		5.2.1.18. 会社ルールに反するビュー依存オブジェクト	D-OR-VD		
		5.2.1.19. 会社ルールに反する投影方法	D-OR-VP		

その他の項目	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

この表は、JAMA/JAPIA PDQガイドライン V4.1の項目リストで
 使用している項目の「記入欄」に次のマークを付けて下さい
 同一尺度の場合は「」、同一種類であるが尺度が異なる場合は「」
 にて記入してください。
 この表に記載されている項目以外をチェックしている場合は
 「その他の項目」に記載をお願いします。

データ交換運用関連 サプライヤ提供情報

フォーマット V2.0 改定: 2021/9/13

会社名 **三菱自動車工業株式会社**

記載日 **2026年5月15日**

[1] 運用システム データ交換様式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

記載にあたっては、各項目のコメントも参考にして下さい。

システム	二輪/四輪 区分	バージョン			システム構成		データ交換様式		補足	
		現行Ver	次期Ver.	切替予定時期	標準パッケージ	OS	Native	汎用		
CAD	CATIA	四輪	V5-6R2024 SP3 HF13	TBD	TBD	HD2	次期Ver Windows11 Enterprise 24H2	CATProduct CATPart	STEP AP214 IGES	26年度はOSのバージョンアップのみ実施し、CADはバージョンアップしません。
VIEWER	Space Vertex	四輪	Ver3.8.2	TBD	TBD		次期Ver Windows11 Enterprise 24H2			サプライヤ様向けにViewerデータは提供しておりません。

[2] オンライン授受方式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

システム名称	利用回線	接続方式	補足
三菱自動車Webシステム (M-GLIDE2019)	インターネット	インターネット VPN + 専用Web	M-GLIDE2019利用は、弊社のユーザ登録が必要です。

[3] オフライン授受方式 (オフラインでの運用が可能な場合は記載して下さい。)

DVD-R, CD-R

[4] 環境設定(カスタマイズ設定)問い合わせ先 (各システムのサポート先や問合せ先を記載下さい。)

システム	部署	補足
CAD	開発管理部 SSD(Supplier Support Desk)	e-mail : helpdesk.qed@mitsubishi-motors.com TEL : 0564-32-8450
VIEWER	同上	同上
オンライン授受	同上	同上
Officeソフト	同上	同上

[5] OfficeソフトのVer (取引先とやり取りする可能性のあるsoftをお記載下さい。)

ソフト名	バージョン	補足
Microsoft 365 MSO	2603	

[6] PDQチェックの適応 (PDQチェックの運用有無を選択下さい。使用するPDQツールが決まっていれば、併せて記載下さい。)

適応状況	○適応無し	●独自仕様で運用(変更なし)	◐独自仕様で運用(変更あり)	補足
必要PDQツール				

調査へのご協力、有難うございました。

適用しているPDQ項目としきい値

会社名:三菱自動車工業株式会社

カテゴリ	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目	しきい値
3.2.1.	3.2.1.1.	セグメント間の隙間	G-CU-LG			
	3.2.1.2.	セグメント間の折れ	G-CU-NT			
	3.2.1.3.	セグメント間の曲率不連続	G-CU-NS			
	3.2.1.4.	微小曲線/セグメント	G-CU-TI			
	3.2.1.5.	近接した曲線/ノット	G-CU-IK			
	3.2.1.6.	曲線の自己干渉	G-CU-IS			
	3.2.1.7.	重複曲線	G-CU-EM			
	3.2.1.8.	曲線の最大次数	G-CU-HD			
	3.2.1.9.	直線状曲線の最大次数	G-CU-ID			
	3.2.1.10.	最大セグメント数	G-CU-FG			
	3.2.1.11.	平面曲線の波打ち	G-CU-WV			
	3.2.1.12.	曲線の微小曲率半径	G-CU-CR			
3.2.2.	3.2.2.1.	サーフェスパッチ間の隙間	G-SU-LG			
	3.2.2.2.	サーフェスパッチ間の折れ	G-SU-NT			
	3.2.2.3.	サーフェスパッチ間の曲率不連続	G-SU-NS			
	3.2.2.4.	微小曲面/サーフェスパッチ	G-SU-TI			
	3.2.2.5.	狭い曲面/サーフェスパッチ	G-SU-NA			
	3.2.2.6.	相対的に狭い隣接パッチ	G-SU-RN			
	3.2.2.7.	縮退した曲面/サーフェスパッチ	G-SU-DC			
	3.2.2.8.	曲面の隣接辺の最小角度	G-SU-DP			
	3.2.2.9.	近接した曲面/ノット	G-SU-IK			
	3.2.2.10.	曲面の自己干渉	G-SU-IS			
	3.2.2.11.	重複曲面	G-SU-EM			
	3.2.2.12.	曲面の最大次数	G-SU-HD			
	3.2.2.13.	平面状曲面の最大次数	G-SU-ID			
	3.2.2.14.	最大サーフェスパッチ数	G-SU-FG			
	3.2.2.15.	未使用サーフェスパッチ	G-SU-UN			
	3.2.2.16.	曲面のねじれ	G-SU-FO			
	3.2.2.17.	曲面の波打ち	G-SU-WV			
	3.2.2.18.	曲面の微小曲率半径	G-SU-CR			
3.2.2.19.	複数フェースから使用される曲面	G-SU-MU				
3.2.3.	3.2.3.1.	微小エッジ	G-ED-TI			
	3.2.3.2.	エッジループの最大セグメント数	G-ED-FG			
	3.2.3.3.	解析表現のエッジ	G-ED-AN			
	3.2.3.4.	閉じたエッジ	G-ED-CL			
	3.2.3.5.	エッジ方向と曲線方向の不整合	G-ED-IO			
3.2.4.	3.2.4.1.	エッジ間の隙間	G-LO-LG			
	3.2.4.2.	エッジループの自己干渉	G-LO-IS			
	3.2.4.3.	エッジ間の鋭い角度	G-LO-SA			
	3.2.4.4.	エッジループの向き	G-LO-IT			
3.2.5.	3.2.5.1.	エッジとベース曲面の隙間	G-FA-EG			
	3.2.5.2.	頂点とベース曲面の隙間	G-FA-VG			
	3.2.5.3.	微小フェース	G-FA-TI			
	3.2.5.4.	全体的に狭いフェース	G-FA-NA			
	3.2.5.5.	一部狭いフェース	G-FA-RN			
	3.2.5.6.	エッジループ間の干渉	G-FA-IS			
	3.2.5.7.	重複フェース	G-FA-EM			
	3.2.5.8.	解析表現のフェース	G-FA-AN			
	3.2.5.9.	閉じたフェース	G-FA-CL			
	3.2.5.10.	フェース方向とベース曲面方向の不整合	G-FA-IT			
3.2.6.	3.2.6.1.	フェース間の隙間	G-SH-LG			
	3.2.6.2.	フェース間の折れ	G-SH-NT			
	3.2.6.3.	フェース間の曲率不連続	G-SH-NS			
	3.2.6.4.	シェル内の自己干渉	G-SH-IS			
	3.2.6.5.	フェース間の鋭い角度	G-SH-SA			
	3.2.6.6.	フェース方向とシェル方向の不整合	G-SH-IT			
3.2.6.7.	3.2.6.7.	未使用のエッジ	G-SH-FR			
	3.2.6.8.	過度な共有エッジ	G-SH-NM			
	3.2.6.9.	過度な共有頂点	G-SH-OU			
	3.2.7.1.	微小ソリッド	G-SO-TI			
	3.2.7.2.	シェル間の干渉	G-SO-IS			
	3.2.7.3.	重複ソリッド	G-SO-EM			
	3.2.7.4.	複数のボリュームからなるソリッド	G-SO-MU			
3.2.7.5.	内部空洞のあるソリッド	G-SO-VO				

カテゴリ	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目
4.2.1.	4.2.1.1.	会社ルールに反するCADバージョン	O-CM-CV		
	4.2.1.2.	会社ルールに反するCADスタートアップファイル	O-CM-SE		
	4.2.1.3.	会社ルールに反する基本精度設定	O-CM-AP		
	4.2.1.4.	ハイブリッドモデル	O-CM-HY		
	4.2.1.5.	マルチソリッドモデル	O-CM-MU		
	4.2.1.6.	CADモデル名への特殊文字の使用	O-CM-SC		
	4.2.1.7.	会社ルールに反するアイテム名	O-CM-IN		
	4.2.1.8.	会社ルールに反する物理ファイル名	O-CM-PN		
	4.2.1.9.	会社ルールに反する物理ファイルサイズ	O-CM-FS		
	4.2.1.10.	会社ルールに反するアイテム属性の設定	O-CM-IP		
	4.2.1.11.	アイテムデータ整合性の未確認	O-CM-IC		
	4.2.1.12.	会社ルールに反するリファレンスセット	O-CM-RS		
	4.2.1.13.	密封型エンティティ(Detail/Symbol等)の使用	O-CM-EE		
	4.2.1.14.	未使用密封型エンティティ(Detail/Symbol等)の存在	O-CM-UP		
	4.2.1.15.	同一密封型エンティティ(Detail/Symbol等)の存在	O-CM-IE		
	4.2.1.16.	空の密封型エンティティ(Detail/Symbol等)の存在	O-CM-EP		
	4.2.1.17.	外部アイテムの参照	O-CM-EI		
	4.2.1.18.	不整合なアイテム間の参照	O-CM-IR		
	4.2.1.19.	会社ルールに反する簡易表現	O-CM-SP		
	4.2.1.20.	モデリング領域外に存在する要素	O-CM-OB		
4.2.2.	4.2.2.1.	グループ使用の有無	O-GL-GU		
	4.2.2.2.	多数のグループ数	O-GL-NG		
	4.2.2.3.	同一要素の複数グループへの登録	O-GL-IG		
	4.2.2.4.	会社ルールに反するグループ	O-GL-IE		
	4.2.2.5.	会社ルールに反するグループ名	O-GL-GN		
	4.2.2.6.	レイヤ使用の有無	O-GL-LY		
	4.2.2.7.	多数のレイヤ数	O-GL-NL		
	4.2.2.8.	会社ルールに反するレイヤ	O-GL-LU		
	4.2.2.9.	会社ルールに反するインスタンスのレイヤ設定	O-GL-WL		
	4.2.2.10.	会社ルールに反するレイヤ名	O-GL-LN		
	4.2.2.11.	レイヤグループ使用の有無	O-GL-GL		
	4.2.2.12.	空のレイヤグループの存在	O-GL-EL		
	4.2.2.13.	会社ルールに反するレイヤグループ	O-GL-LA		
4.2.3.	4.2.3.1.	局所座標系の有無	O-CS-LS		
	4.2.3.2.	座標系選択の不整合	O-CS-NR		
	4.2.3.3.	会社ルールに反する座標系の向き	O-CS-NO		
	4.2.3.4.	会社ルールに反する座標系名	O-CS-CN		
	4.2.3.5.	会社ルールに反する単位系	O-CS-SU		
	4.2.3.6.	会社ルールに反するスケール設定	O-CS-SS		
	4.2.3.7.	トランスフォーメーションの存在	O-CS-TS		
4.2.4.	4.2.4.1.	アセンブリ構造の有無	O-AR-AR		
	4.2.4.2.	アセンブリ拘束条件の未定義	O-AR-UC		
4.2.5.	4.2.5.1.	モデル履歴使用の有無	O-SO-HN		
	4.2.5.2.	モデル履歴のアップデートの未実施	O-SO-HU		
	4.2.5.3.	モデル履歴が未定義	O-SO-MH		
	4.2.5.4.	未使用のモデル履歴の存在	O-SO-UH		
4.2.6.	4.2.6.1.	未解決(Unresolved)フォームフィーチャの使用	O-FE-UF		
	4.2.6.2.	非活動(inactive)フォームフィーチャの使用	O-FE-IF		
4.2.7.	4.2.7.1.	会社ルールに反する要素名	O-EL-EN		
	4.2.7.2.	未使用要素の存在	O-EL-UE		
	4.2.7.3.	会社ルールに反する要素タイプ	O-EL-PE		
	4.2.7.4.	ユーザ定義要素の使用	O-EL-UD		
4.2.8.	4.2.8.1.	会社ルールに反する色設定	O-PR-CO		
	4.2.8.2.	会社ルールに反する要素色	O-PR-EC		
	4.2.8.3.	会社ルールに反する点種	O-PR-PT		
	4.2.8.4.	会社ルールに反する線種	O-PR-LT		
	4.2.8.5.	会社ルールに反する線幅	O-PR-LW		
	4.2.8.6.	会社ルールに反する表示/非表示設定	O-PR-VE		
	4.2.8.7.	会社ルールに反するシェーディング表示モード	O-PR-DM		
	4.2.8.8.	要素名の表示	O-PR-ED		
	4.2.8.9.	会社ルールに反する拡大表示	O-PR-SR		
4.2.9.	4.2.9.1.	多数のスケッチ要素	O-SK-WD		
	4.2.9.2.	スケッチ要素間の拘束条件の未定義	O-SK-NC		

カテゴリ	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目
5.2.1.	5.2.1.1.	微小な図面要素	D-GE-TI		
	5.2.1.2.	重複した図面要素	D-GE-EM		
	5.2.1.3.	ISO非適合テキストの使用	D-OR-SC		
	5.2.1.4.	不明なCAD参照元情報	D-OR-SN		
	5.2.1.5.	外部データベース、ライブラリ参照の有無	D-OR-ER		
	5.2.1.6.	2D図の有無	D-OR-XD		
	5.2.1.7.	2D図の未更新	D-OR-DU		
	5.2.1.8.	2D、3D連携の有無	D-OR-DL		
	5.2.1.9.	多数の図面シート数	D-OR-ND		
	5.2.1.10.	会社ルールに反するプロット範囲設定	D-OR-PP		
	5.2.1.11.	図面フレーム領域の未定義	D-OR-VF		
	5.2.1.12.	ブランクビューの存在	D-OR-EV		
	5.2.1.13.	会社ルールに反するビュー名	D-OR-VN		
	5.2.1.14.	未使用座標系の存在	D-OR-CS		
	5.2.1.15.	フェイク寸法の使用	D-OR-FD		
	5.2.1.16.	会社ルールに反する寸法表示精度	D-OR-DI		
	5.2.1.17.	図面寸法の非連携	D-OR-AD		
	5.2.1.18.	会社ルールに反するビュー依存オブジェクト	D-OR-VD		
	5.2.1.19.	会社ルールに反する投影方法	D-OR-VP		

その他の項目	
1	Product/Part Update
2	Current Work Object
3	Empty Sheets
4	Non-Allowed Sheet Size
5	Sheet Scaling
6	Empty Detail Sheets
7	Drafting Standard Name
8	Permitted Element Types in NOPICK
9	Background Sheet
10	

この表は、JAMA/JAPIA PDQガイドライン V4.1の項目リストで
 使用している項目の「記入欄」に次のマークを付けて下さい
 同一尺度の場合は「」、同一種類であるが尺度が異なる場合は「」
 にて記入してください。
 この表に記載されている項目以外をチェックしている場合は
 「その他の項目」に記載をお願いします。

データ交換運用関連 サプライヤ提供情報

フォーマット V2.0 改定: 2021/9/13

会社名 **三菱ふそうトラック・バス株式会社**

記載日 **2026年5月26日**

[1] 運用システム データ交換様式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

記載にあたっては、各項目のコメントも参考にして下さい。

システム/System	二輪/四輪 区分	バージョン/Version			システム構成/System Configuration		データ交換様式 /Data exchange format		補足/Remark
		現行Ver./current version	次期Ver./Next version	切替予定時期 /Version up date	標準パッケージ /Standard package	OS	Native	汎用/General purpose	
CAD	NX	2412.0	TBD	Nov/2026	-	Win11	PRT STEP DXF/DWG TIF SVG		
VIEWER	Vis Mockup	2506	TBD	Nov-26	-	win11	PLMXML JT		

[2] オンライン授受方式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

システム名称/System name	利用回線/Use network line	接続方式/Connection method	補足/Remark
SWAN	INTERNET	WEB Based Application	

[3] オフライン授受方式 (オフラインでの運用が可能な場合は記載して下さい。)

N/A

[4] 環境設定(カスタマイズ設定)問い合わせ先 (各システムのサポート先や問合せ先を記載下さい。)

システム/system	部署/department name	補足/Remark
CAD	ITプロダクト開発・プロダクション部 IT エンジニアリング&テストIT	
VIEWER	ITプロダクト開発・プロダクション部 IT エンジニアリング&テストIT	
オンライン授受	ITプロダクト開発・プロダクション部 IT エンジニアリング&テストIT	
Officeソフト	N/A	

[5] OfficeソフトのVer (取引先とやり取りする可能性のあるsoftをお記載下さい。)

ソフト名/Soft name	バージョン/Version	補足/Remark
N/A		

[6] PDQチェックの適応 (PDQチェックの運用有無を選択下さい。使用するPDQツールが決まっていれば、併せて記載下さい。)

適応状況/Adaptation status	必要PDQツール /PDQ tool	補足
<input type="radio"/> 適応無し <input type="radio"/> 独自仕様で運用(変更なし) <input type="radio"/> 独自仕様で運用(変更あり)	DQM	

調査へのご協力、有難うございました。

適用しているPDQ項目としきい値

会社名: 三菱ふそうトラック・バス株式会社

カテゴリ	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目	しきい値
曲線	3.2.1.1.	セグメント間の隙間	G-CU-LG			
	3.2.1.2.	セグメント間の折れ	G-CU-NT			
	3.2.1.3.	セグメント間の曲率不連続	G-CU-NS			
	3.2.1.4.	微小曲線/セグメント	G-CU-TI			
	3.2.1.5.	近接した曲線/ノット	G-CU-IK			
	3.2.1.6.	曲線の自己干渉	G-CU-IS			
	3.2.1.7.	重複曲線	G-CU-EM			
	3.2.1.8.	曲線の最大次数	G-CU-HD			
	3.2.1.9.	直線状曲線の最大次数	G-CU-ID			
	3.2.1.10.	最大セグメント数	G-CU-FG			
	3.2.1.11.	平面曲線の波打ち	G-CU-WV			
	3.2.1.12.	曲線の微小曲率半径	G-CU-CR			
曲面	3.2.2.1.	サーフェスパッチ間の隙間	G-SU-LG			
	3.2.2.2.	サーフェスパッチ間の折れ	G-SU-NT			
	3.2.2.3.	サーフェスパッチ間の曲率不連続	G-SU-NS			
	3.2.2.4.	微小曲面/サーフェスパッチ	G-SU-TI			
	3.2.2.5.	狭い曲面/サーフェスパッチ	G-SU-NA			
	3.2.2.6.	相対的に狭い隣接パッチ	G-SU-RN			
	3.2.2.7.	縮退した曲面/サーフェスパッチ	G-SU-DC			
	3.2.2.8.	曲面の隣接辺の最小角度	G-SU-DP			
	3.2.2.9.	近接した曲面/ノット	G-SU-IK			
	3.2.2.10.	曲面の自己干渉	G-SU-IS			
	3.2.2.11.	重複曲面	G-SU-EM			
	3.2.2.12.	曲面の最大次数	G-SU-HD			
	3.2.2.13.	平面状曲面の最大次数	G-SU-ID			
	3.2.2.14.	最大サーフェスパッチ数	G-SU-FG			
	3.2.2.15.	未使用サーフェスパッチ	G-SU-UN			
	3.2.2.16.	曲面のねじれ	G-SU-FO		○	
	3.2.2.17.	曲面の波打ち	G-SU-WV			
	3.2.2.18.	曲面の微小曲率半径	G-SU-CR			
3.2.2.19.	複数フェースから使用される曲面	G-SU-MU				
エッジ	3.2.3.1.	微小エッジ	G-ED-TI			
	3.2.3.2.	エッジループの最大セグメント数	G-ED-FG			
	3.2.3.3.	解析表現のエッジ	G-ED-AN			
	3.2.3.4.	閉じたエッジ	G-ED-CL			
	3.2.3.5.	エッジ方向と曲線方向の不整合	G-ED-IO			
エッジループ	3.2.4.1.	エッジ間の隙間	G-LO-LG		○	
	3.2.4.2.	エッジループの自己干渉	G-LO-IS			
	3.2.4.3.	エッジ間の鋭い角度	G-LO-SA			
	3.2.4.4.	エッジループの向き	G-LO-IT			
フェース	3.2.5.1.	エッジとベース曲面の隙間	G-FA-EG			
	3.2.5.2.	頂点とベース曲面の隙間	G-FA-VG			
	3.2.5.3.	微小フェース	G-FA-TI			
	3.2.5.4.	全体的に狭いフェース	G-FA-NA			
	3.2.5.5.	一部狭いフェース	G-FA-RN			
	3.2.5.6.	エッジループ間の干渉	G-FA-IS			
	3.2.5.7.	重複フェース	G-FA-EM			
	3.2.5.8.	解析表現のフェース	G-FA-AN			
	3.2.5.9.	閉じたフェース	G-FA-CL			
	3.2.5.10.	フェース方向とベース曲面方向の不整合	G-FA-IT			
シェル	3.2.6.1.	フェース間の隙間	G-SH-LG			
	3.2.6.2.	フェース間の折れ	G-SH-NT			
	3.2.6.3.	フェース間の曲率不連続	G-SH-NS			
	3.2.6.4.	シェルの自己干渉	G-SH-IS			
	3.2.6.5.	フェース間の鋭い角度	G-SH-SA			
	3.2.6.6.	フェース方向とシェル方向の不整合	G-SH-IT			
	3.2.6.7.	未使用のエッジ	G-SH-FR			
	3.2.6.8.	過度な共有エッジ	G-SH-NM			
ソリッド	3.2.6.9.	過度な共有頂点	G-SH-OU			
	3.2.7.1.	微小ソリッド	G-SO-TI		○	
	3.2.7.2.	シェル間の干渉	G-SO-IS			
	3.2.7.3.	重複ソリッド	G-SO-EM			
	3.2.7.4.	複数のボリュームからなるソリッド	G-SO-MU			
	3.2.7.5.	内部空洞のあるソリッド	G-SO-VO		○	

カテゴリ	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目
CADモデル	4.2.1.1.	会社ルールに反するCADバージョン	O-CM-CV		
	4.2.1.2.	会社ルールに反するCADスタートアップファイル	O-CM-SE		
	4.2.1.3.	会社ルールに反する基本精度設定	O-CM-AP		
	4.2.1.4.	ハイブリッドモデル	O-CM-HY		
	4.2.1.5.	マルチソリッドモデル	O-CM-MU		
	4.2.1.6.	CADモデル名への特殊文字の使用	O-CM-SC		
	4.2.1.7.	会社ルールに反するアイテム名	O-CM-IN		
	4.2.1.8.	会社ルールに反する物理ファイル名	O-CM-PN		
	4.2.1.9.	会社ルールに反する物理ファイルサイズ	O-CM-FS		
	4.2.1.10.	会社ルールに反するアイテム属性の設定	O-CM-IP		
	4.2.1.11.	アイテムデータ整合性の未確認	O-CM-IC		
	4.2.1.12.	会社ルールに反するリファレンスセット	O-CM-RS		
	4.2.1.13.	密封型エンティティ(Detail/Symbol等)の使用	O-CM-EE		
	4.2.1.14.	未使用密封型エンティティ(Detail/Symbol等)の存在	O-CM-UP		
	4.2.1.15.	同一密封型エンティティ(Detail/Symbol等)の存在	O-CM-IE		
	4.2.1.16.	空の密封型エンティティ(Detail/Symbol等)の存在	O-CM-EP		
	4.2.1.17.	外部アイテムの参照	O-CM-EI		
	4.2.1.18.	不整合なアイテム間の参照	O-CM-IR		
	4.2.1.19.	会社ルールに反する簡易表現	O-CM-SP		
	4.2.1.20.	モデリング領域外に存在する要素	O-CM-OB		
グループ/レイヤ	4.2.2.1.	グループ使用の有無	O-GL-GU		
	4.2.2.2.	多数のグループ数	O-GL-NG		
	4.2.2.3.	同一要素の複数グループへの登録	O-GL-IG		
	4.2.2.4.	会社ルールに反するグループ	O-GL-IE		
	4.2.2.5.	会社ルールに反するグループ名	O-GL-GN		
	4.2.2.6.	レイヤ使用の有無	O-GL-LY		
	4.2.2.7.	多数のレイヤ数	O-GL-NL		
	4.2.2.8.	会社ルールに反するレイヤ	O-GL-LU		
	4.2.2.9.	会社ルールに反するインスタンスのレイヤ設定	O-GL-WL		
	4.2.2.10.	会社ルールに反するレイヤ名	O-GL-LN		
	4.2.2.11.	レイヤグループ使用の有無	O-GL-GL		
	4.2.2.12.	空のレイヤグループの存在	O-GL-EL		
	4.2.2.13.	会社ルールに反するレイヤグループ	O-GL-LA		
座標系	4.2.3.1.	局所座標系の有無	O-CS-LS		
	4.2.3.2.	座標系選択の不整合	O-CS-NR		
	4.2.3.3.	会社ルールに反する座標系の向き	O-CS-NO		
	4.2.3.4.	会社ルールに反する座標系名	O-CS-CN		
	4.2.3.5.	会社ルールに反する単位系	O-CS-SU		
	4.2.3.6.	会社ルールに反するスケール設定	O-CS-SS		
	4.2.3.7.	トランスフォーメーションの存在	O-CS-TS		
アセンブリ	4.2.4.1.	アセンブリ構造の有無	O-AR-AR		
	4.2.4.2.	アセンブリ拘束条件の未定義	O-AR-UC		
ソリッド	4.2.5.1.	モデル履歴使用の有無	O-SO-HN		
	4.2.5.2.	モデル履歴のアップデートの未実施	O-SO-HU		
	4.2.5.3.	モデル履歴が未定義	O-SO-MH		
	4.2.5.4.	未使用のモデル履歴の存在	O-SO-UH		
フォームフィーチャ	4.2.6.1.	未解決(Unresolved)フォームフィーチャの使用	O-FE-UF		
	4.2.6.2.	非活動(inactive)フォームフィーチャの使用	O-FE-IF		
要素	4.2.7.1.	会社ルールに反する要素名	O-EL-EN		
	4.2.7.2.	未使用要素の存在	O-EL-UE		
	4.2.7.3.	会社ルールに反する要素タイプ	O-EL-PE		
	4.2.7.4.	ユーザ定義要素の使用	O-EL-UD		
表示	4.2.8.1.	会社ルールに反する色設定	O-PR-CO		
	4.2.8.2.	会社ルールに反する要素色	O-PR-EC		
	4.2.8.3.	会社ルールに反する点種	O-PR-PT		
	4.2.8.4.	会社ルールに反する線種	O-PR-LT		
	4.2.8.5.	会社ルールに反する線幅	O-PR-LW		
	4.2.8.6.	会社ルールに反する表示/非表示設定	O-PR-VE		
	4.2.8.7.	会社ルールに反するシェーディング表示モード	O-PR-DM		
	4.2.8.8.	要素名の表示	O-PR-ED		
	4.2.8.9.	会社ルールに反する拡大表示	O-PR-SR		
スケッチ	4.2.9.1.	多数のスケッチ要素	O-SK-WD		
	4.2.9.2.	スケッチ要素間の拘束条件の未定義	O-SK-NC		

カテゴリ	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目
ドローイング	5.2.1.1.	微小な図面要素	D-GE-TI		
	5.2.1.2.	重複した図面要素	D-GE-EM		
	5.2.1.3.	ISO非適合テキストの使用	D-OR-SC		
	5.2.1.4.	不明なCAD参照元情報	D-OR-SN		
	5.2.1.5.	外部データベース、ライブラリ参照の有無	D-OR-ER		
	5.2.1.6.	2D図の有無	D-OR-XD		
	5.2.1.7.	2D図の未更新	D-OR-DU		
	5.2.1.8.	2D, 3D連携の有無	D-OR-DL		
	5.2.1.9.	多数の図面シート数	D-OR-ND		
	5.2.1.10.	会社ルールに反するプロット範囲設定	D-OR-PF		
	5.2.1.11.	図面フレーム領域の未定義	D-OR-VF		
	5.2.1.12.	ブランクビューの存在	D-OR-EV		
	5.2.1.13.	会社ルールに反するビュー名	D-OR-VN		
	5.2.1.14.	未使用座標系の存在	D-OR-CS		
	5.2.1.15.	フェイク寸法の使用	D-OR-FD		
	5.2.1.16.	会社ルールに反する寸法表示精度	D-OR-DI		
	5.2.1.17.	図面寸法の非連携	D-OR-AD		
	5.2.1.18.	会社ルールに反するビュー依存オブジェクト	D-OR-VD		
	5.2.1.19.	会社ルールに反する投影方法	D-OR-VP		

その他の項目	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

この表は、JAMA/JAPIA PDQガイドライン V4.1の項目リストで
 使用している項目の「記入欄」に次のマークを付けて下さい
 同一尺度の場合は「」、同一種類であるが尺度が異なる場合は「」
 にて記入してください。
 この表に記載されている項目以外をチェックしている場合は
 「その他の項目」に記載をお願いします。

データ交換運用関連 サプライヤ提供情報

フォーマット V2.0 改定: 2021/9/13

会社名 ヤマハ発動機株式会社

記載日 2026年5月27日

[1] 運用システム データ交換様式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

記載にあたっては、各項目のコメントも参考して下さい。

システム	二輪/四輪 区分	バージョン			システム構成		データ交換様式		補足
		現行Ver	次期Ver.	切替予定時期	標準パッケージ	OS	Native	汎用	
CAD	NX	二輪	2412.0	2612	2027年6月		Windows11		IGES DXF STEP CFIO Parasolid
	ESPRi-II	二輪	V3.7				Windows11	ESPRi-II	IGES DXF STEP CFIO Parasolid
VIEWER	XVL	二輪	19.0a				Windows11		

[2] オンライン授受方式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

システム名称	利用回線	接続方式	補足
FTP	SecureIP		
OneDrive	Internet		

[3] オフライン授受方式 (オフラインでの運用が可能な場合は記載して下さい。)

--

[4] 環境設定(カスタマイズ設定)問い合わせ先 (各システムのサポート先や問合せ先を記載下さい。)

システム	部署	補足
CAD	ヤマハモーターソリューション ES運用グループ 0538-32-3481	
VIEWER	ヤマハモーターソリューション ES運用グループ 0538-32-3481	
オンライン授受	ヤマハモーターソリューション ES運用グループ 0538-32-3481	
Officeソフト		

[5] OfficeソフトのVer (取引先とやり取りする可能性のあるsoftをお記載下さい。)

ソフト名	バージョン	補足

[6] PDQチェックの適応 (PDQチェックの運用有無を選択下さい。使用するPDQツールが決まっていれば、併せて記載下さい。)

適応状況	◎適応無し	○独自仕様で運用(変更なし)	◇独自仕様で運用(変更あり)	補足
必要PDQツール				

調査へのご協力、有難うございました。

データ交換運用関連 サプライヤ提供情報

フォーマット V2.0 改定: 2021/9/13

会社名 **UDトラックス株式会社**

記載日 **2026/5/20**

[1] 運用システム データ交換様式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

記載にあたっては、各項目のコメントも参考にして下さい。

システム	二輪/四輪 区分	バージョン			システム構成		データ交換様式		補足
		現行Ver	次期Ver.	切替予定時期	標準パッケージ	OS	Native	汎用	
CAD	Creo	10.0.8		未定		Windows11	prt asm drw	STEP	
	CATIA	V5R27		計画なし		Windows11	CATPart CATProduct CATDrawing	STEP	対サプライヤーではCreoのみを正式としています。 CATIAは社内の設計効率化用での使用にとどめています。
VIEWER	Creo View	11.1		未定		Windows11			

[2] オンライン授受方式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

システム名称	利用回線	接続方式	補足
弊社サプライヤポータル	インターネット	インターネット	

[3] オフライン授受方式 (オフラインでの運用が可能な場合は記載して下さい。)

--

[4] 環境設定(カスタマイズ設定)問い合わせ先 (各システムのサポート先や問合せ先を記載下さい。)

システム	部署	補足
CAD	Digital Solutions & IT	
VIEWER	同上	
オンライン授受	同上	
Officeソフト	同上	

[5] OfficeソフトのVer (取引先とやり取りする可能性のあるsoftをお記載下さい。)

ソフト名	バージョン	補足
Microsoft Office	2603	

[6] PDQチェックの適応 (PDQチェックの運用有無を選択下さい。使用するPDQツールが決まっていれば、併せて記載下さい。)

適応状況	○適応無し ●独自仕様で運用(変更なし) ◐独自仕様で運用(変更あり)	補足
必要PDQツール		

調査へのご協力、有難うございました。

適用しているPDQ項目としきい値

会社名:UDトラックス(株)

カテゴリ	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目	しきい値
3.2.1.	3.2.1.1.	セグメント間の隙間	G-CU-LG			
	3.2.1.2.	セグメント間の折れ	G-CU-NT			
	3.2.1.3.	セグメント間の曲率不連続	G-CU-NS			
	3.2.1.4.	微小曲線/セグメント	G-CU-TI			
	3.2.1.5.	近接した曲線/ノット	G-CU-IK			
	3.2.1.6.	曲線の自己干渉	G-CU-IS			
	3.2.1.7.	重複曲線	G-CU-EM			
	3.2.1.8.	曲線の最大次数	G-CU-HD			
	3.2.1.9.	直線状曲線の最大次数	G-CU-ID			
	3.2.1.10.	最大セグメント数	G-CU-FG			
	3.2.1.11.	平面曲線の波打ち	G-CU-WV			
	3.2.1.12.	曲線の微小曲率半径	G-CU-CR			
3.2.2.	3.2.2.1.	サーフェスパッチ間の隙間	G-SU-LG			
	3.2.2.2.	サーフェスパッチ間の折れ	G-SU-NT			
	3.2.2.3.	サーフェスパッチ間の曲率不連続	G-SU-NS			
	3.2.2.4.	微小曲面/サーフェスパッチ	G-SU-TI			
	3.2.2.5.	狭い曲面/サーフェスパッチ	G-SU-NA			
	3.2.2.6.	相対的に狭い隣接パッチ	G-SU-RN			
	3.2.2.7.	縮退した曲面/サーフェスパッチ	G-SU-DC			
	3.2.2.8.	曲面の隣接辺の最小角度	G-SU-DP			
	3.2.2.9.	近接した曲面/ノット	G-SU-IK			
	3.2.2.10.	曲面の自己干渉	G-SU-IS			
	3.2.2.11.	重複曲面	G-SU-EM			
	3.2.2.12.	曲面の最大次数	G-SU-HD			
	3.2.2.13.	平面状曲面の最大次数	G-SU-ID			
	3.2.2.14.	最大サーフェスパッチ数	G-SU-FG			
	3.2.2.15.	未使用サーフェスパッチ	G-SU-UN			
	3.2.2.16.	曲面のねじれ	G-SU-FO			
	3.2.2.17.	曲面の波打ち	G-SU-WV			
	3.2.2.18.	曲面の微小曲率半径	G-SU-CR			
3.2.2.19.	複数フェースから使用される曲面	G-SU-MU				
3.2.3.	3.2.3.1.	微小エッジ	G-ED-TI			
	3.2.3.2.	エッジループの最大セグメント数	G-ED-FG			
	3.2.3.3.	解析表現のエッジ	G-ED-AN			
	3.2.3.4.	閉じたエッジ	G-ED-CL			
	3.2.3.5.	エッジ方向と曲線方向の不整合	G-ED-IO			
3.2.4.	3.2.4.1.	エッジ間の隙間	G-LO-LG			
	3.2.4.2.	エッジループの自己干渉	G-LO-IS			
	3.2.4.3.	エッジ間の鋭い角度	G-LO-SA			
	3.2.4.4.	エッジループの向き	G-LO-IT			
3.2.5.	3.2.5.1.	エッジとベース曲面の隙間	G-FA-EG			
	3.2.5.2.	頂点とベース曲面の隙間	G-FA-VG			
	3.2.5.3.	微小フェース	G-FA-TI			
	3.2.5.4.	全体的に狭いフェース	G-FA-NA			
	3.2.5.5.	一部狭いフェース	G-FA-RN			
	3.2.5.6.	エッジループ間の干渉	G-FA-IS			
	3.2.5.7.	重複フェース	G-FA-EM			
	3.2.5.8.	解析表現のフェース	G-FA-AN			
	3.2.5.9.	閉じたフェース	G-FA-CL			
	3.2.5.10.	フェース方向とベース曲面方向の不整合	G-FA-IT			
3.2.6.	3.2.6.1.	フェース間の隙間	G-SH-LG			
	3.2.6.2.	フェース間の折れ	G-SH-NT			
	3.2.6.3.	フェース間の曲率不連続	G-SH-NS			
	3.2.6.4.	シェル内の自己干渉	G-SH-IS			
	3.2.6.5.	フェース間の鋭い角度	G-SH-SA			
	3.2.6.6.	フェース方向とシェル方向の不整合	G-SH-IT			
3.2.7.	3.2.7.1.	微小ソリッド	G-SO-TI			
	3.2.7.2.	シェル間の干渉	G-SO-IS			
	3.2.7.3.	重複ソリッド	G-SO-EM			
	3.2.7.4.	複数のボリュームからなるソリッド	G-SO-MU			
	3.2.7.5.	内部空洞のあるソリッド	G-SO-VO			

カテゴリ	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目
4.2.1.	4.2.1.1.	会社ルールに反するCADバージョン	O-CM-CV		
	4.2.1.2.	会社ルールに反するCADスタートアップファイル	O-CM-SE		
	4.2.1.3.	会社ルールに反する基本精度設定	O-CM-AP		
	4.2.1.4.	ハイブリッドモデル	O-CM-HY		
	4.2.1.5.	マルチソリッドモデル	O-CM-MU		
	4.2.1.6.	CADモデル名への特殊文字の使用	O-CM-SC		
	4.2.1.7.	会社ルールに反するアイテム名	O-CM-IN		
	4.2.1.8.	会社ルールに反する物理ファイル名	O-CM-PN		
	4.2.1.9.	会社ルールに反する物理ファイルサイズ	O-CM-FS		
	4.2.1.10.	会社ルールに反するアイテム属性の設定	O-CM-IP		
	4.2.1.11.	アイテムデータ整合性の未確認	O-CM-IC		
	4.2.1.12.	会社ルールに反するリファレンスセット	O-CM-RS		
	4.2.1.13.	密封型エンティティ(Detail/Symbol等)の使用	O-CM-EE		
	4.2.1.14.	未使用密封型エンティティ(Detail/Symbol等)の存在	O-CM-UP		
	4.2.1.15.	同一密封型エンティティ(Detail/Symbol等)の存在	O-CM-IE		
	4.2.1.16.	空の密封型エンティティ(Detail/Symbol等)の存在	O-CM-EP		
	4.2.1.17.	外部アイテムの参照	O-CM-EI		
	4.2.1.18.	不整合なアイテム間の参照	O-CM-IR		
	4.2.1.19.	会社ルールに反する簡易表現	O-CM-SP		
	4.2.1.20.	モデリング領域外に存在する要素	O-CM-OB		
4.2.2.	4.2.2.1.	グループ使用の有無	O-GL-GU		
	4.2.2.2.	多数のグループ数	O-GL-NG		
	4.2.2.3.	同一要素の複数グループへの登録	O-GL-IG		
	4.2.2.4.	会社ルールに反するグループ	O-GL-IE		
	4.2.2.5.	会社ルールに反するグループ名	O-GL-GN		
	4.2.2.6.	レイヤ使用の有無	O-GL-LY		
	4.2.2.7.	多数のレイヤ数	O-GL-NL		
	4.2.2.8.	会社ルールに反するレイヤ	O-GL-LU		
	4.2.2.9.	会社ルールに反するインスタンスのレイヤ設定	O-GL-WL		
	4.2.2.10.	会社ルールに反するレイヤ名	O-GL-LN		
	4.2.2.11.	レイヤグループ使用の有無	O-GL-GL		
	4.2.2.12.	空のレイヤグループの存在	O-GL-EL		
	4.2.2.13.	会社ルールに反するレイヤグループ	O-GL-LA		
4.2.3.	4.2.3.1.	局所座標系の有無	O-CS-LS		
	4.2.3.2.	座標系選択の不整合	O-CS-NR		
	4.2.3.3.	会社ルールに反する座標系の向き	O-CS-NO		
	4.2.3.4.	会社ルールに反する座標系名	O-CS-CN		
	4.2.3.5.	会社ルールに反する単位系	O-CS-SU		
	4.2.3.6.	会社ルールに反するスケール設定	O-CS-SS		
	4.2.3.7.	トランスフォーメーションの存在	O-CS-TS		
4.2.4.	4.2.4.1.	アセンブリ構造の有無	O-AR-AR		
	4.2.4.2.	アセンブリ拘束条件の未定義	O-AR-UC		
4.2.5.	4.2.5.1.	モデル履歴使用の有無	O-SO-HN		
	4.2.5.2.	モデル履歴のアップデートの未実施	O-SO-HU		
	4.2.5.3.	モデル履歴が未定義	O-SO-MH		
	4.2.5.4.	未使用のモデル履歴の存在	O-SO-UH		
4.2.6.	4.2.6.1.	未解決(Unresolved)フォームフィーチャの使用	O-FE-UF		
	4.2.6.2.	非活動(inactive)フォームフィーチャの使用	O-FE-IF		
4.2.7.	4.2.7.1.	会社ルールに反する要素名	O-EL-EN		
	4.2.7.2.	未使用要素の存在	O-EL-UE	◎	
	4.2.7.3.	会社ルールに反する要素タイプ	O-EL-PE		
	4.2.7.4.	ユーザ定義要素の使用	O-EL-UD		
4.2.8.	4.2.8.1.	会社ルールに反する色設定	O-PR-CO		
	4.2.8.2.	会社ルールに反する要素色	O-PR-EC		
	4.2.8.3.	会社ルールに反する点種	O-PR-PT		
	4.2.8.4.	会社ルールに反する線種	O-PR-LT		
	4.2.8.5.	会社ルールに反する線幅	O-PR-LW		
	4.2.8.6.	会社ルールに反する表示/非表示設定	O-PR-VE		
	4.2.8.7.	会社ルールに反するシェーディング表示モード	O-PR-DM		
	4.2.8.8.	要素名の表示	O-PR-ED		
	4.2.8.9.	会社ルールに反する拡大表示	O-PR-SR		
4.2.9.	4.2.9.1.	多数のスケッチ要素	O-SK-WD		
	4.2.9.2.	スケッチ要素間の拘束条件の未定義	O-SK-NC		

カテゴリ	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目
5.2.1.	5.2.1.1.	微小な図面要素	D-GE-TI		
	5.2.1.2.	重複した図面要素	D-GE-EM		
	5.2.1.3.	ISO非適合テキストの使用	D-OR-SC		
	5.2.1.4.	不明なCAD参照元情報	D-OR-SN		
	5.2.1.5.	外部データベース、ライブラリ参照の有無	D-OR-ER		
	5.2.1.6.	2D図の有無	D-OR-XD		
	5.2.1.7.	2D図の未更新	D-OR-DU		
	5.2.1.8.	2D,3D連携の有無	D-OR-DL		
	5.2.1.9.	多数の図面シート数	D-OR-ND		
	5.2.1.10.	会社ルールに反するプロット範囲設定	D-OR-PF		
	5.2.1.11.	図面フレーム領域の未定義	D-OR-VF		
	5.2.1.12.	ブランクビューの存在	D-OR-EV		
	5.2.1.13.	会社ルールに反するビュー名	D-OR-VN	◎	
	5.2.1.14.	未使用座標系の存在	D-OR-CS		
	5.2.1.15.	フェイク寸法の使用	D-OR-FD		
	5.2.1.16.	会社ルールに反する寸法表示精度	D-OR-DI		
	5.2.1.17.	図面寸法の非連携	D-OR-AD		
	5.2.1.18.	会社ルールに反するビュー依存オブジェクト	D-OR-VD		
	5.2.1.19.	会社ルールに反する投影方法	D-OR-VP		

その他の項目	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

この表は、JAMA/JAPIA PDQガイドライン V4.1の項目リストで
 使用している項目の「記入欄」に次のマークを付けて下さい
 同一尺度の場合は「」、同一種類であるが尺度が異なる場合は「」
 にて記入してください。
 この表に記載されている項目以外をチェックしている場合は
 「その他の項目」に記載をお願いします。